

※ 内閣府男女共同参画局の協力のもと、総務省統計局より労働力調査の個票利用承認を受け、独自に集計を行ったものである。関係者のご尽力に深く感謝する。

コロナ下の子育て女性の就業状況 (改訂版)

2021年4月22日

コロナ下の女性への影響と課題に関する研究会 第11回

池田将人 (東京大学)

川口大司 (東京大学)

深井太洋 (内閣府)

山口慎太郎 (東京大学)



要点

- 有配偶子育て女性の就業率は、コロナ禍の影響で低下し、20年12月時点では回復していない。
- 特に、全国一斉休校があった小学生を持つ母親の就業率が低下。非労働力化が進んだため。
- シングルマザーの失業率がQ3に大幅上昇し、Q4でやや落ち着くが、引き続き注視すべき。
- 労働市場における学歴間格差が拡大したとはいえない。



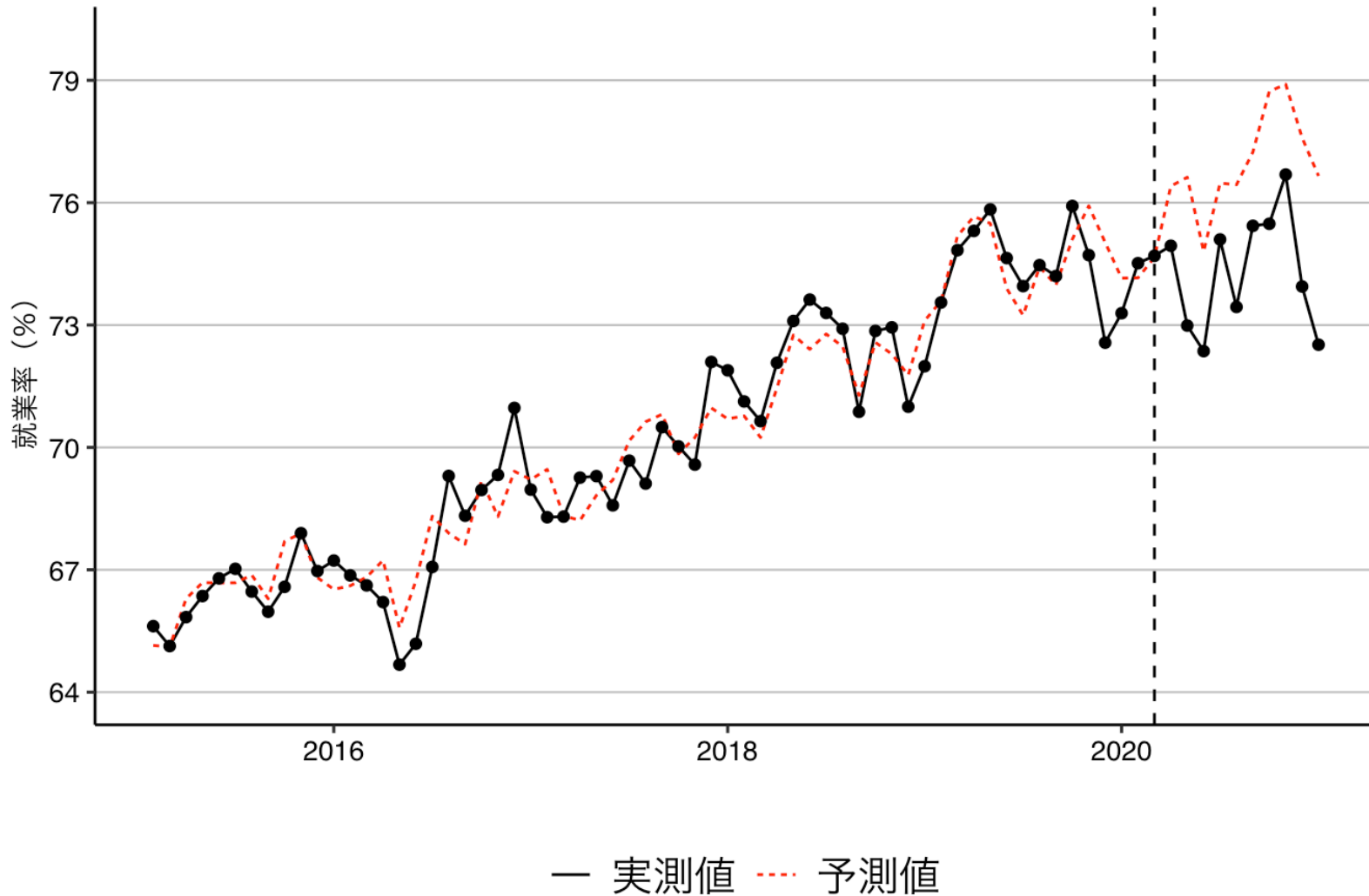
前回からの変更点

- 2020年10－12月分のデータを追加
- 学歴、年齢、地域に加え、1年前の産業、職業、雇用形態についての情報を活用
- 学歴間の比較を実施



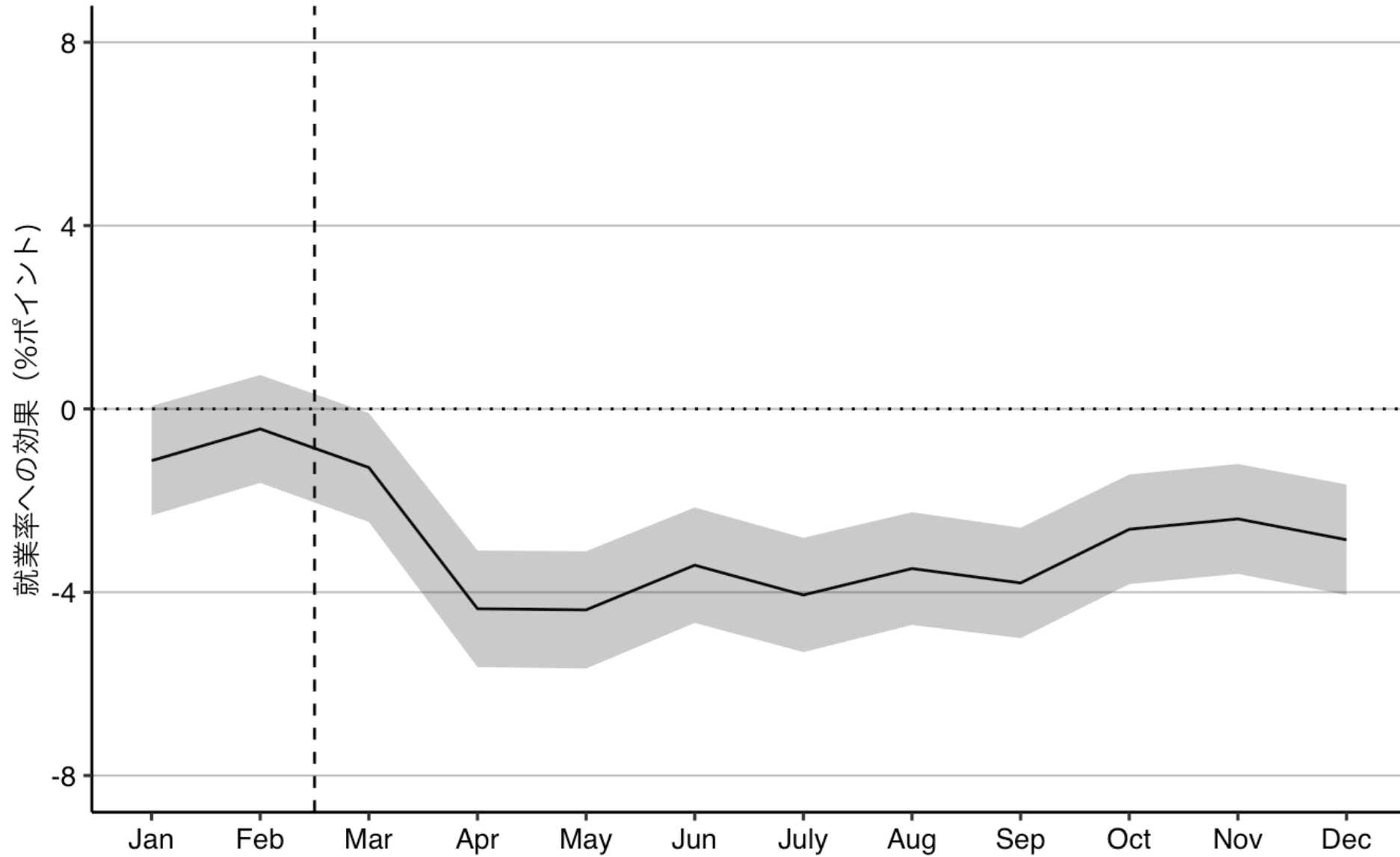
「コロナ禍効果」の推定方法

有配偶子あり女性（25~54歳）の就業率



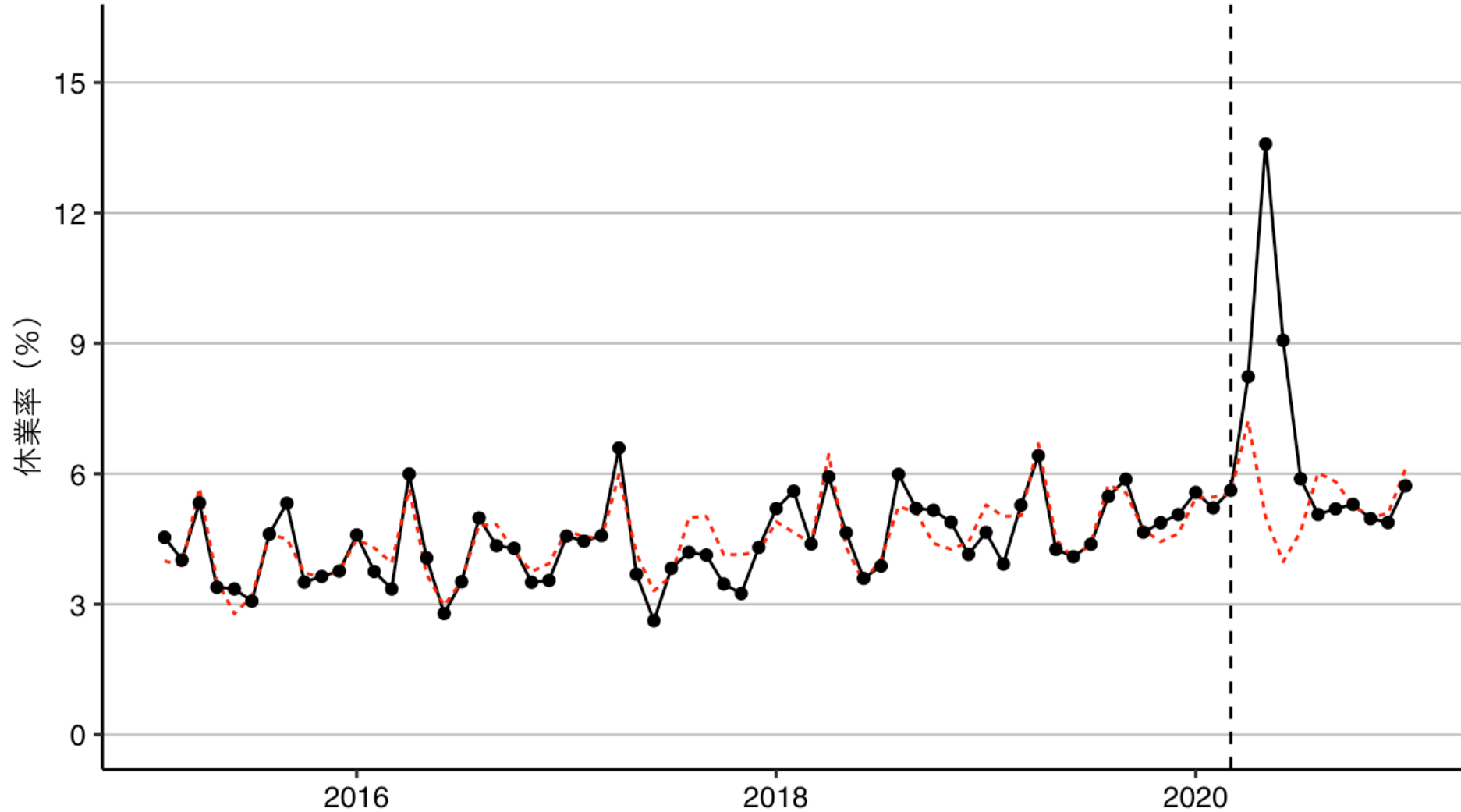
1. 2015年から2019年までのデータで予測モデルを作成。
2. 2020年における、予測値と実績値の差を「コロナ禍効果」とみなす。

有配偶子あり女性（25~54歳）の就業率へのコロナ禍効果



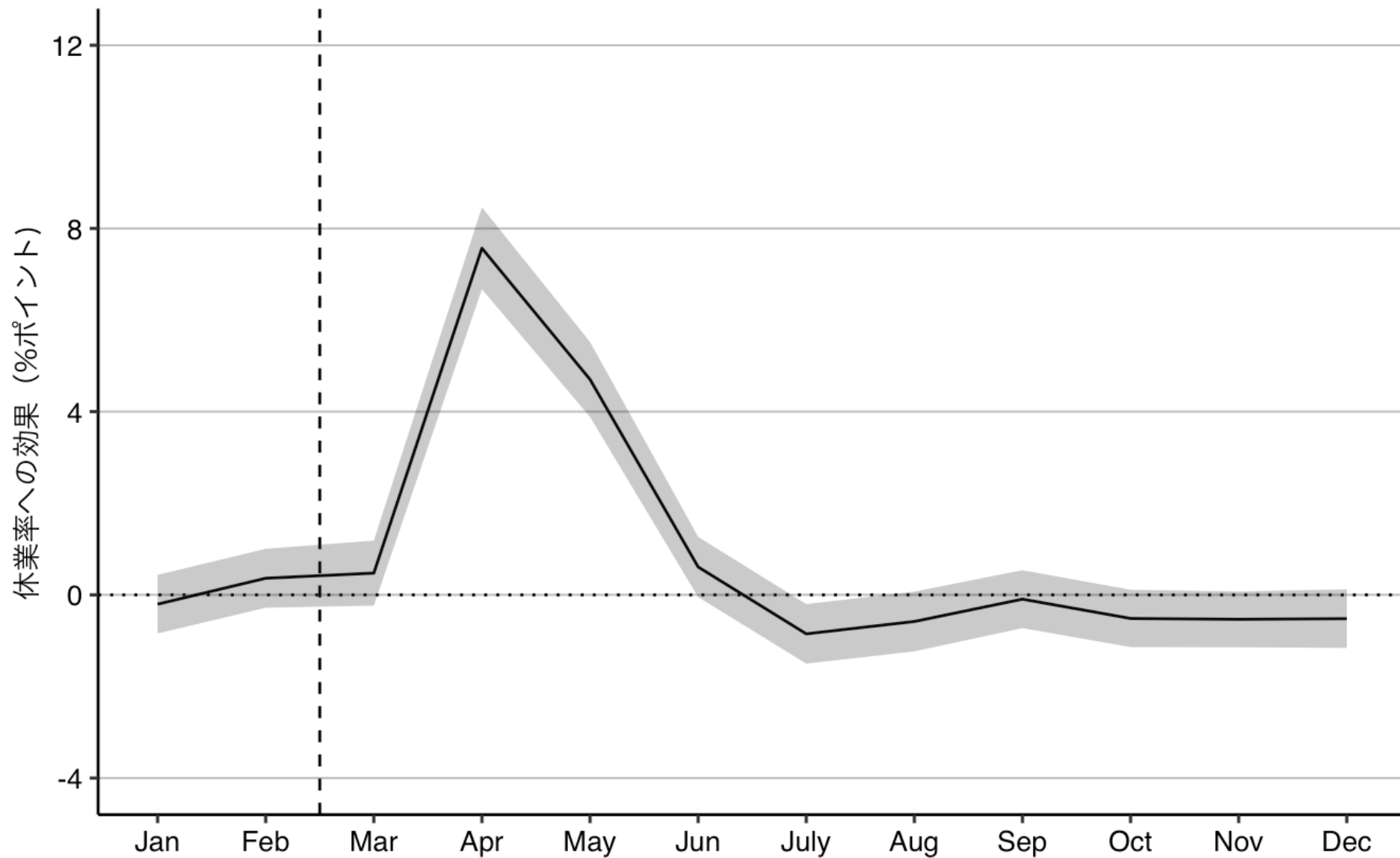
実線は予測値と実測値の差、網掛け部分は90%信頼区間を示す。

有配偶子あり女性（25~54歳）の休業率



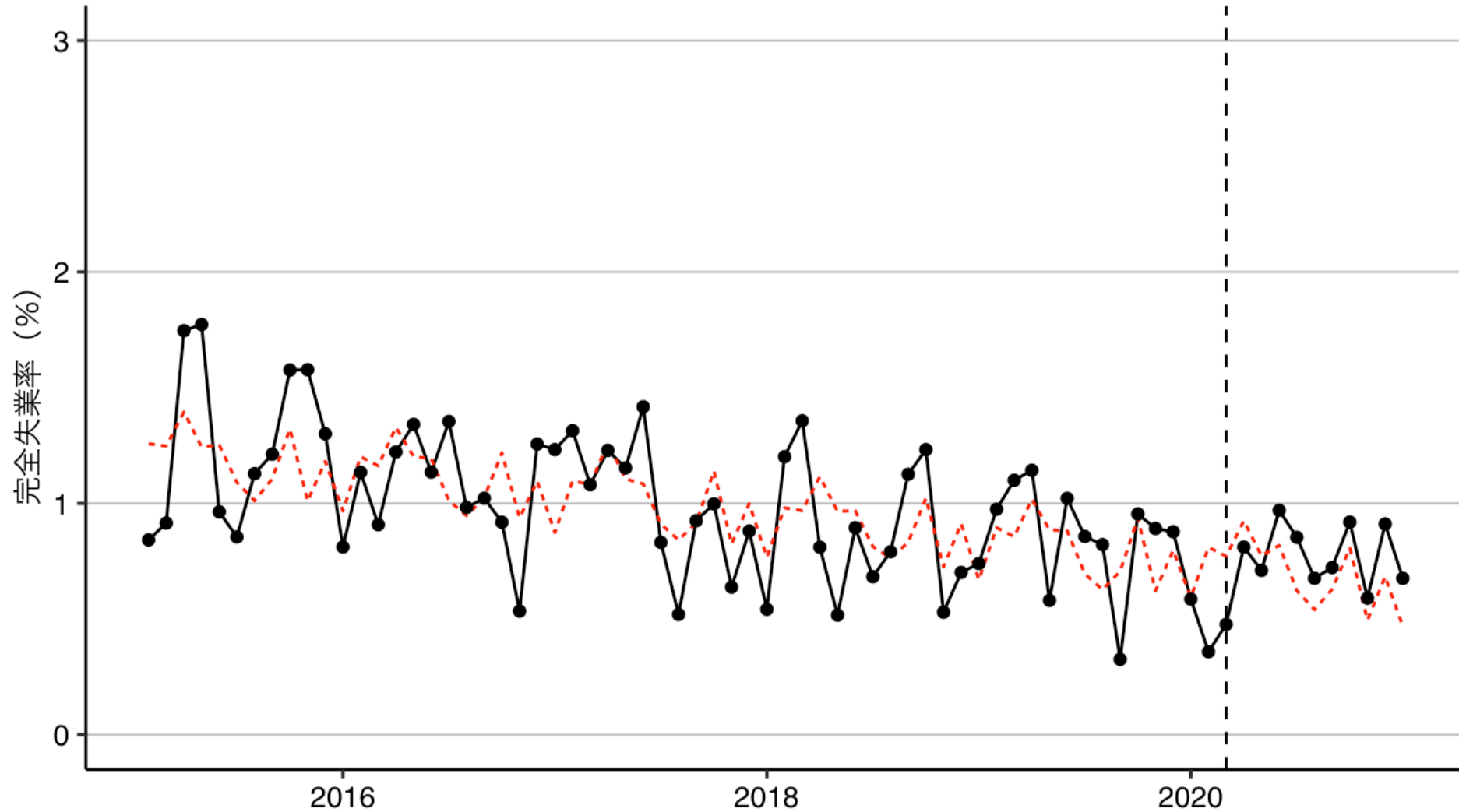
— 実測値 - - - 予測値

有配偶子あり女性（25~54歳）の休業率へのコロナ禍効果



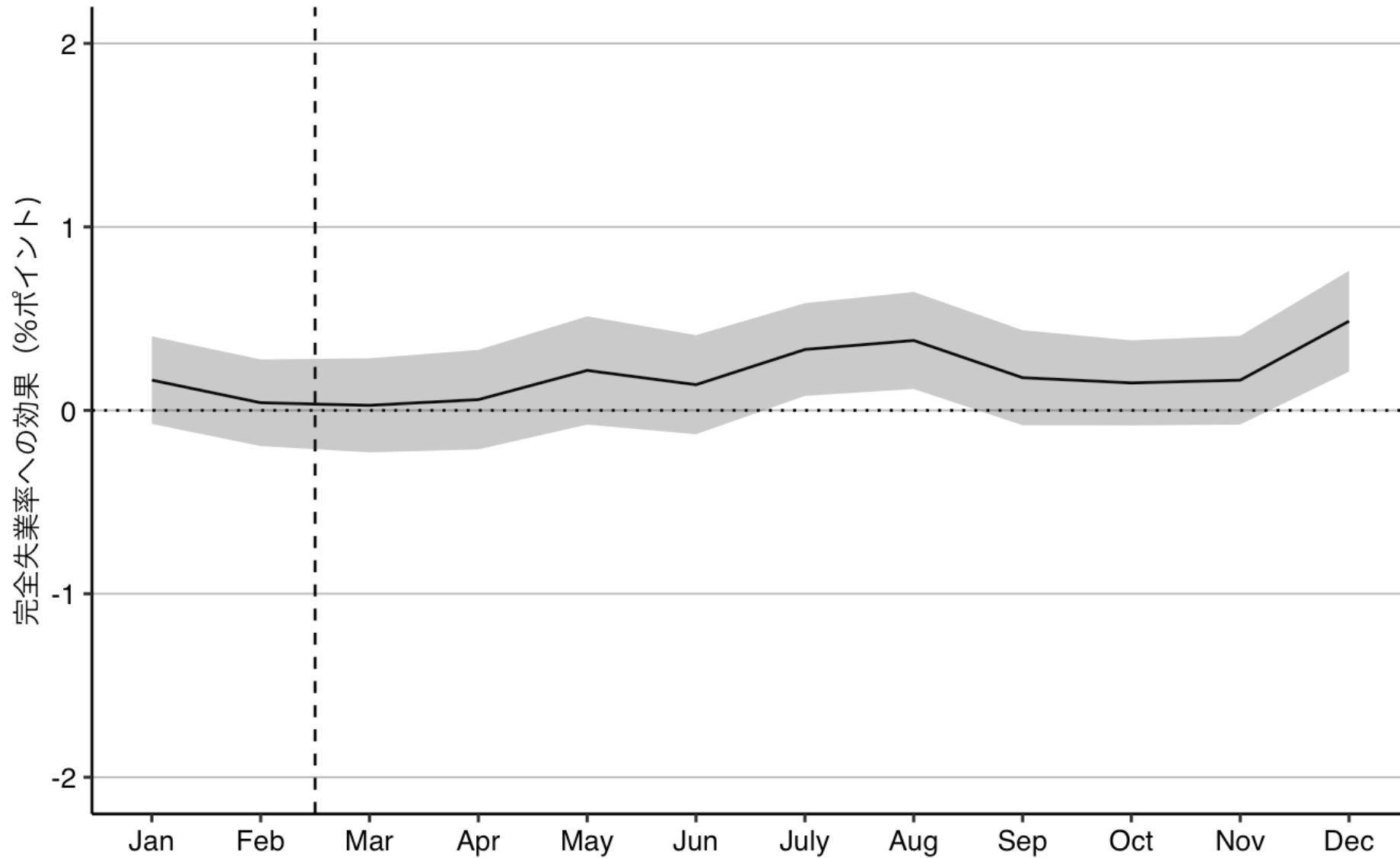
実線は予測値と実測値の差、網掛け部分は90%信頼区間を示す。

有配偶子あり女性（25~54歳）の完全失業率



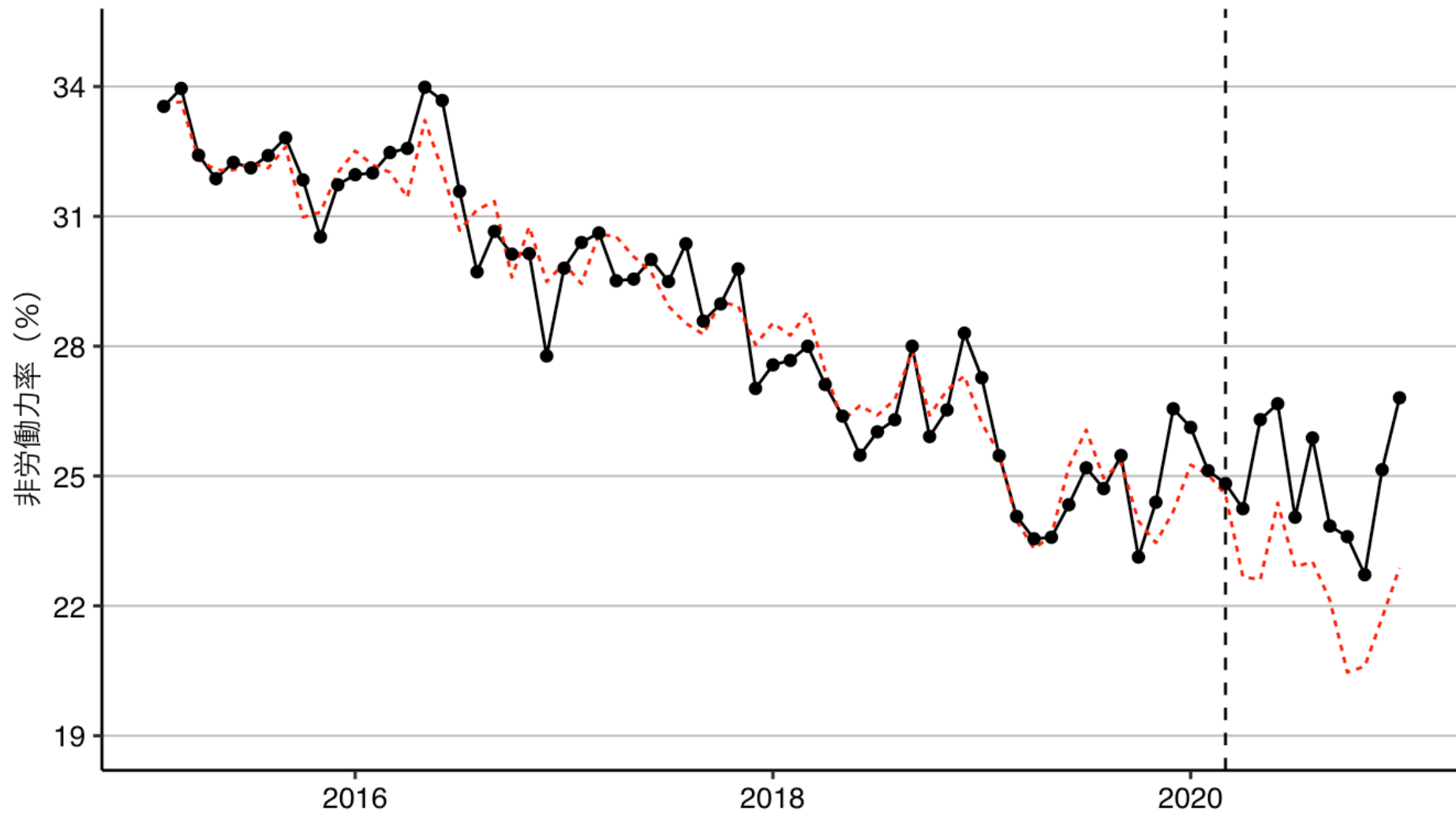
— 実測値 - - - 予測値

有配偶子あり女性（25~54歳）の完全失業率へのコロナ禍効果



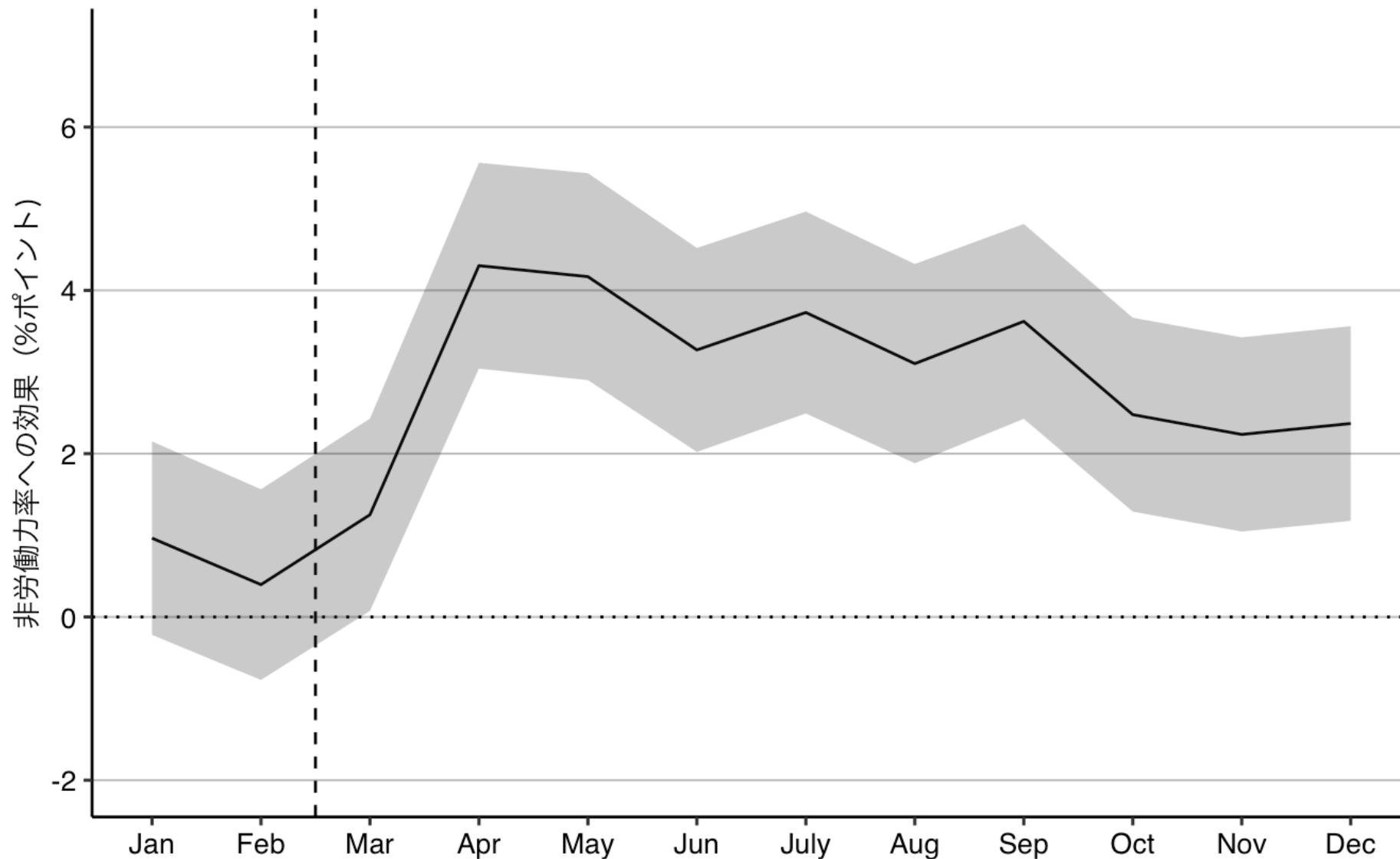
実線は予測値と実測値の差、網掛け部分は90%信頼区間を示す。

有配偶子あり女性（25~54歳）の非労働力率



— 実測値 - - - 予測値

有配偶子あり女性（25~54歳）の非労働力率へのコロナ禍効果

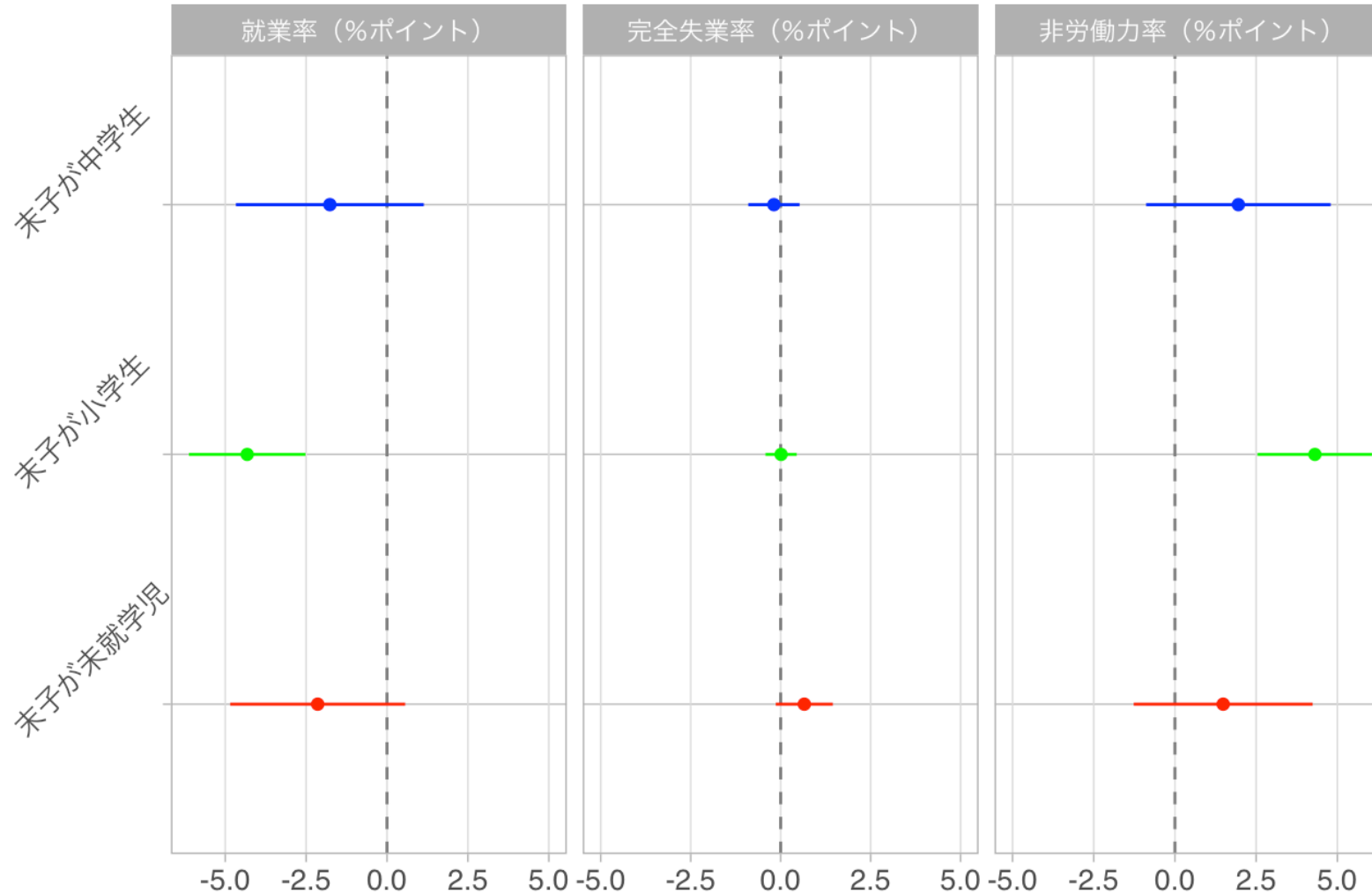


実線は予測値と実測値の差、網掛け部分は90%信頼区間を示す。



末子が小学生の母親に比較的大きな悪影響 (Q4 CY2020)

末子の年齢別でのコロナ禍の効果：2020年10-12月期についての平均



グラフ上の点は長期トレンドからの乖離の推定値、実線は90%信頼区間を示す。



「休校効果」の推定

子育て女性の就業率低下の原因

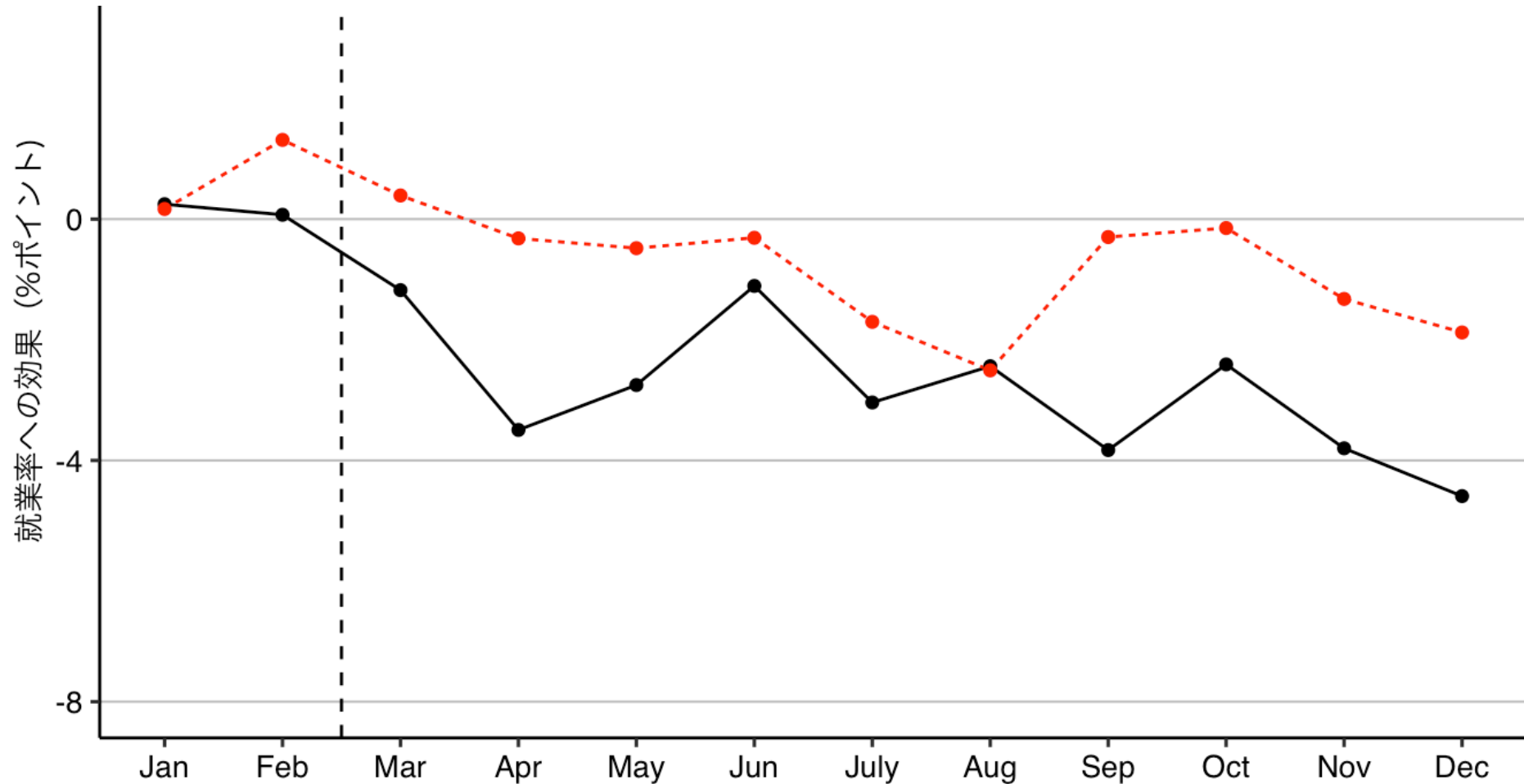
1. コロナ禍不況による労働需要の減少
2. 休校を原因とした労働供給の減少
3. その他コロナ禍を原因とした労働供給の減少（不安など）

子供がいない有配偶女性については、上の1, 3は当てはまるが、2が当てはまらないとみなす。

(注) 子どもがいる人といない人での、学歴、年齢、地域、産業、職業、雇用形態の差は取り除く

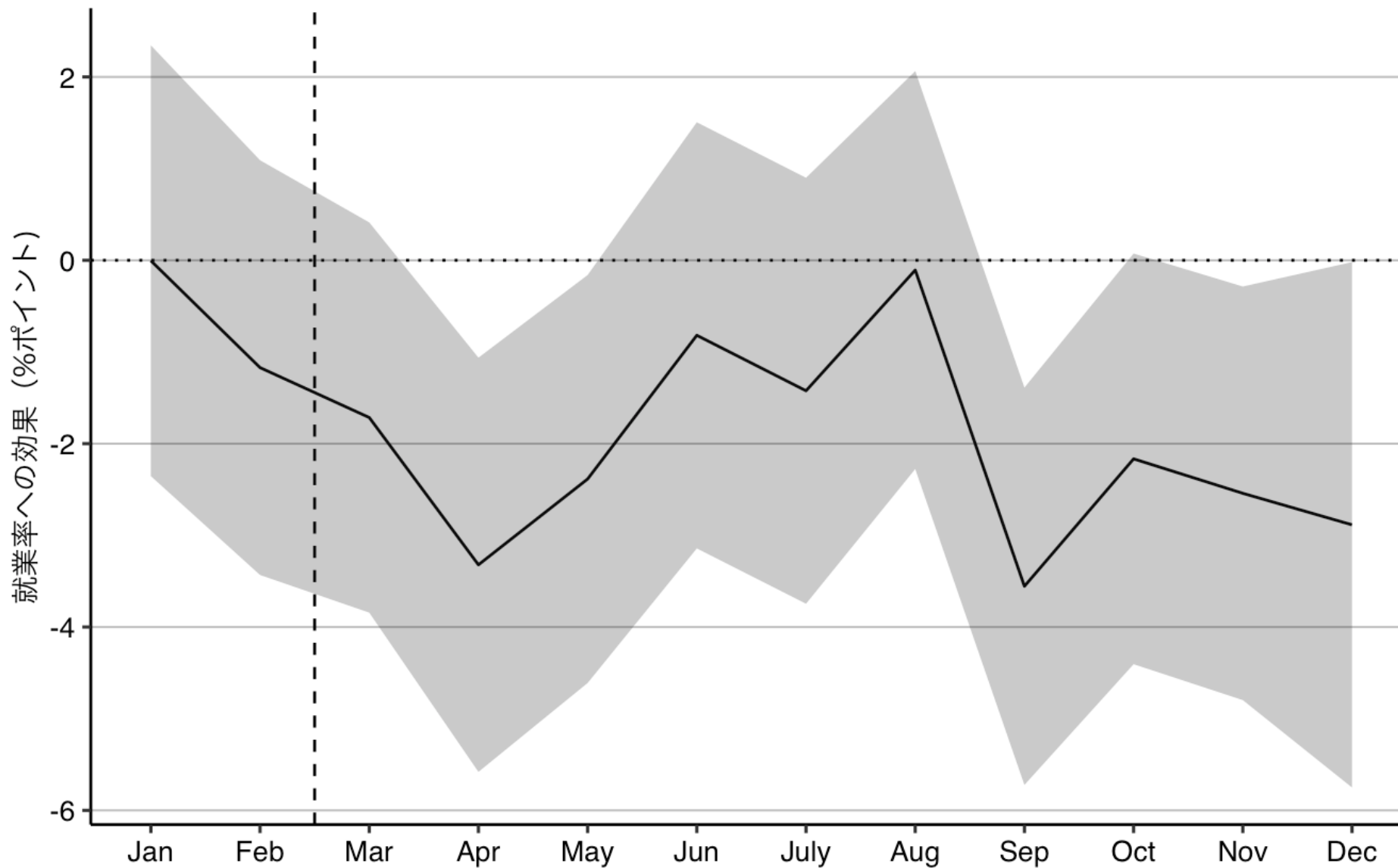
「休校効果」^{def} 子どものいる人と、いない人での「コロナ禍効果」の差

(注) 学歴、年齢、地域、産業、職業、雇用形態の差は除去済み



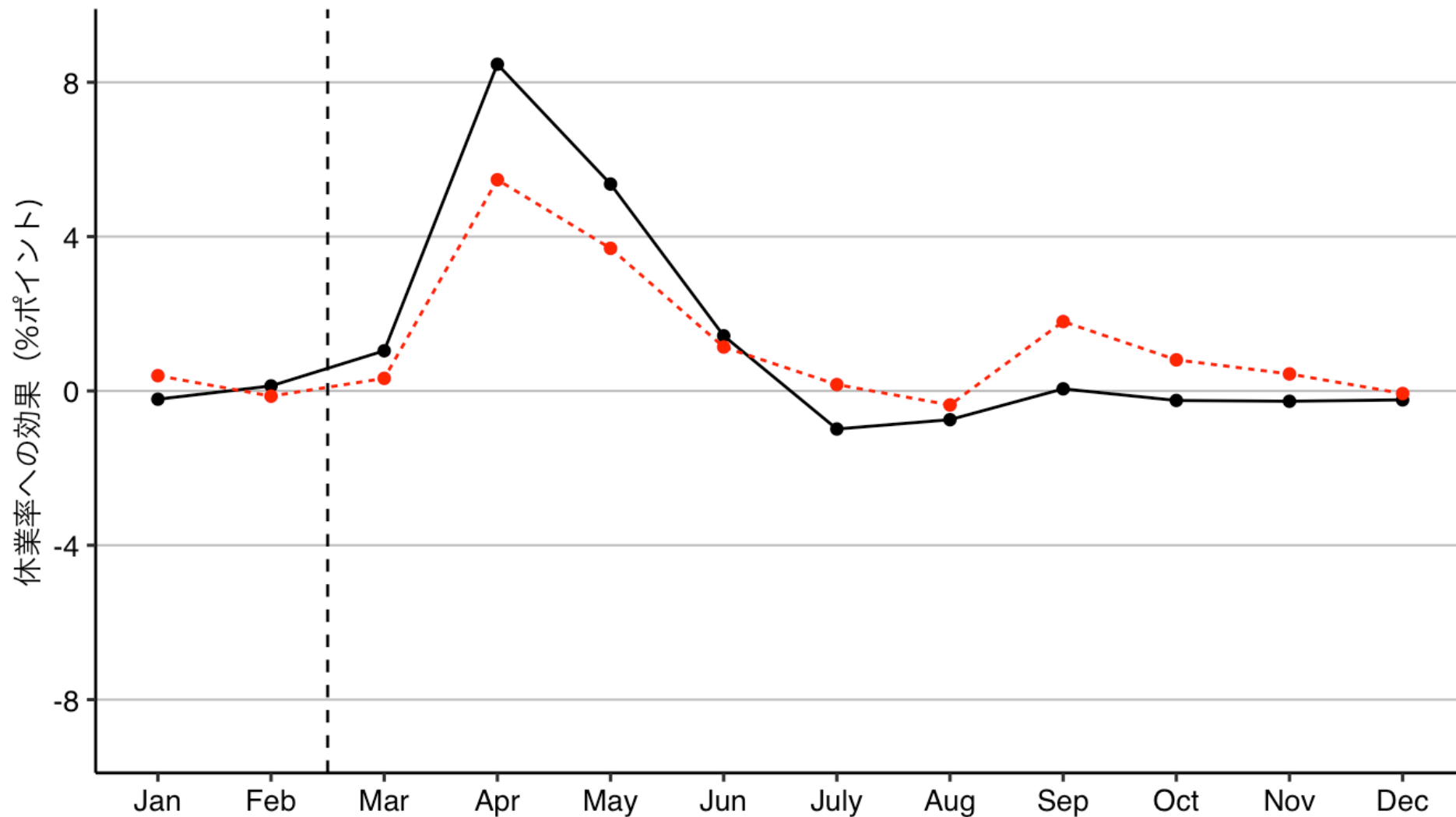
● 末子が未就学または小学生である有配偶女性 ● 子供のいない有配偶女性

末子が未就学または小学生である有配偶女性（25~54歳）の就業率への休校効果



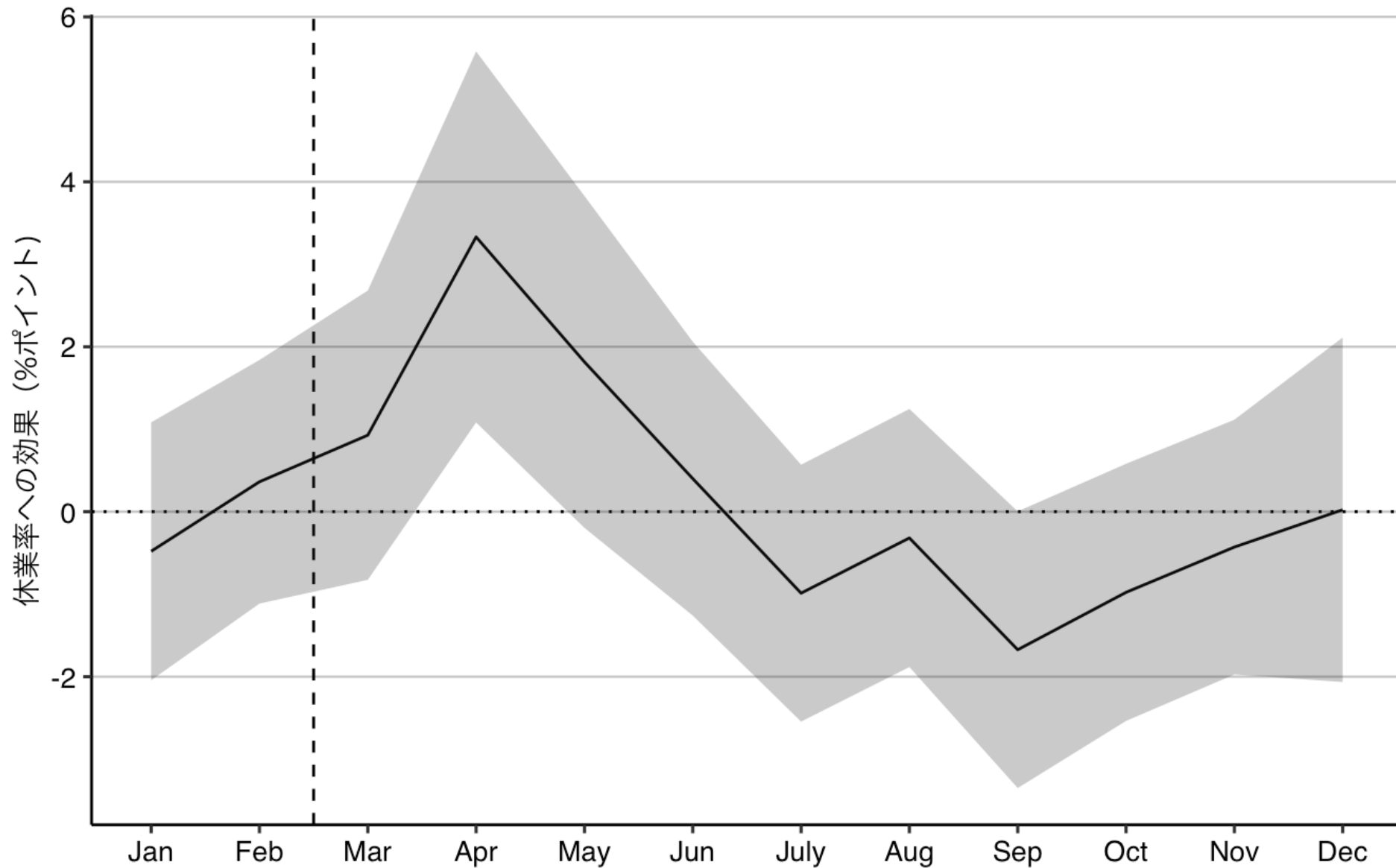
子供がいない有配偶女性をコントロールグループに用いた。網掛け部分は90%信頼区間を示す。

2つのグループ間での「コロナ禍効果」の比較：休業率への効果



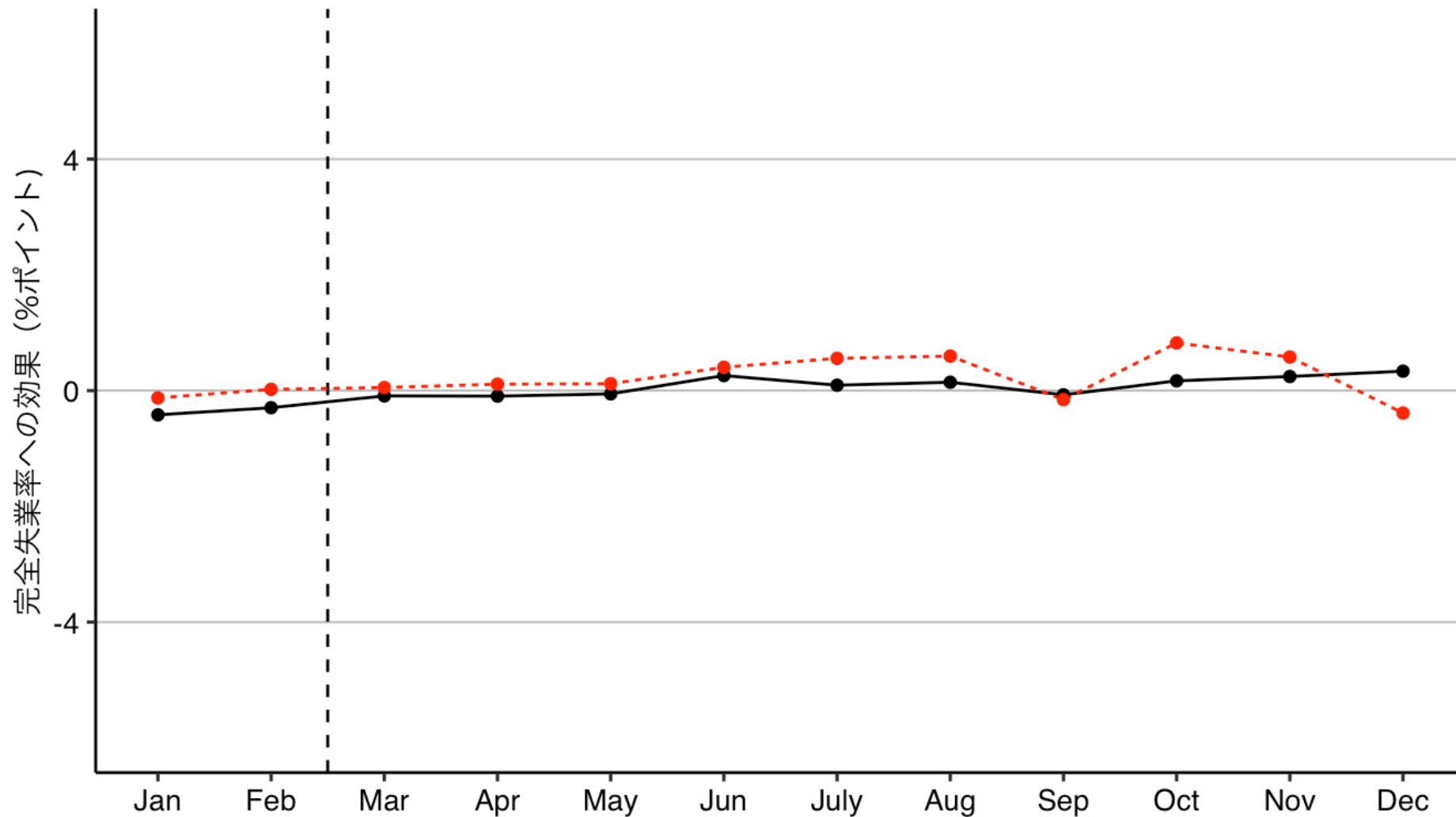
● 末子が未就学または小学生である有配偶女性 ● 子供のいない有配偶女性

末子が未就学または小学生である有配偶女性（25~54歳）の休業率への休校効果



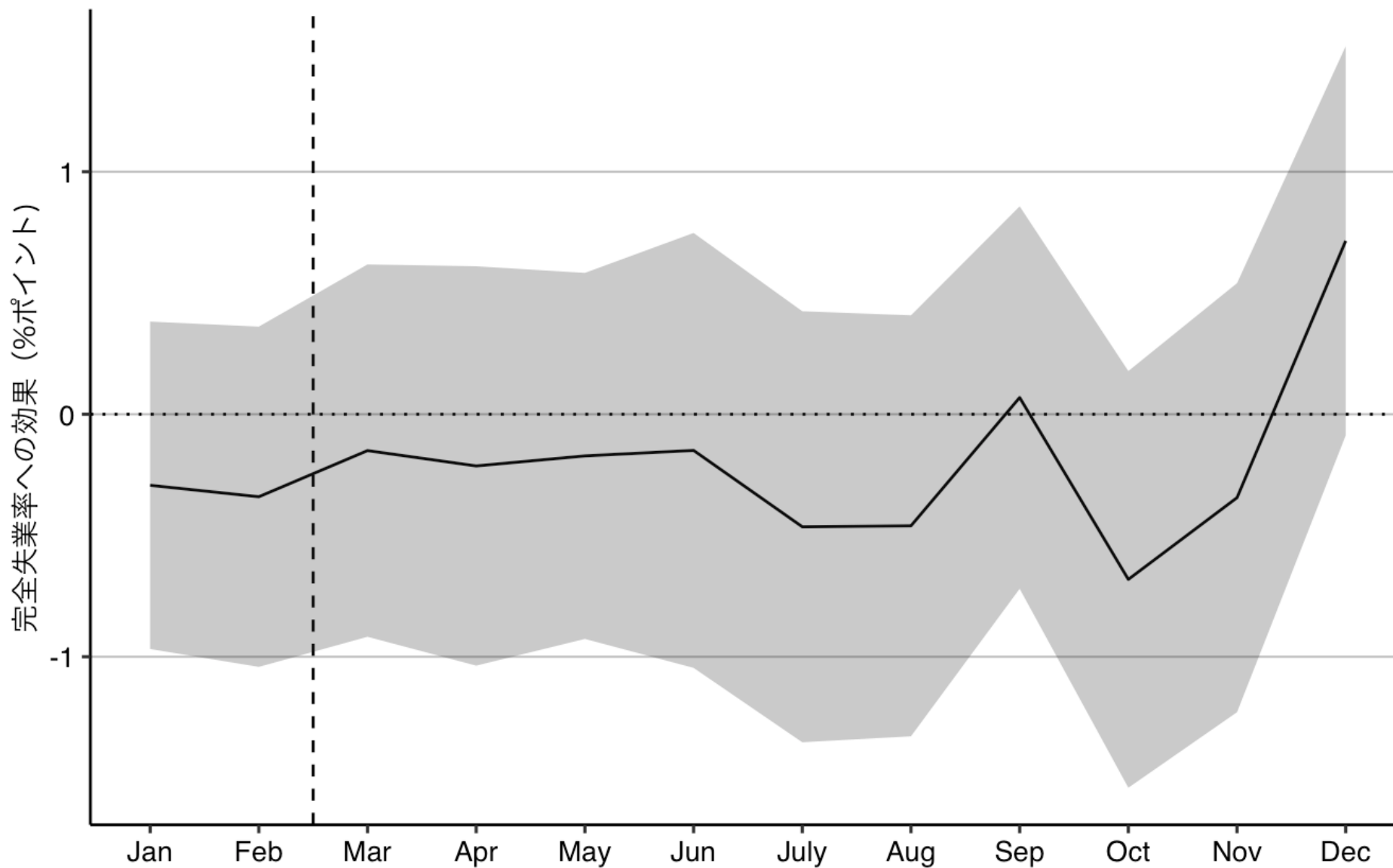
子供がいない有配偶女性をコントロールグループに用いた。網掛け部分は90%信頼区間を示す。

2つのグループ間での「コロナ禍効果」の比較：完全失業率への効果



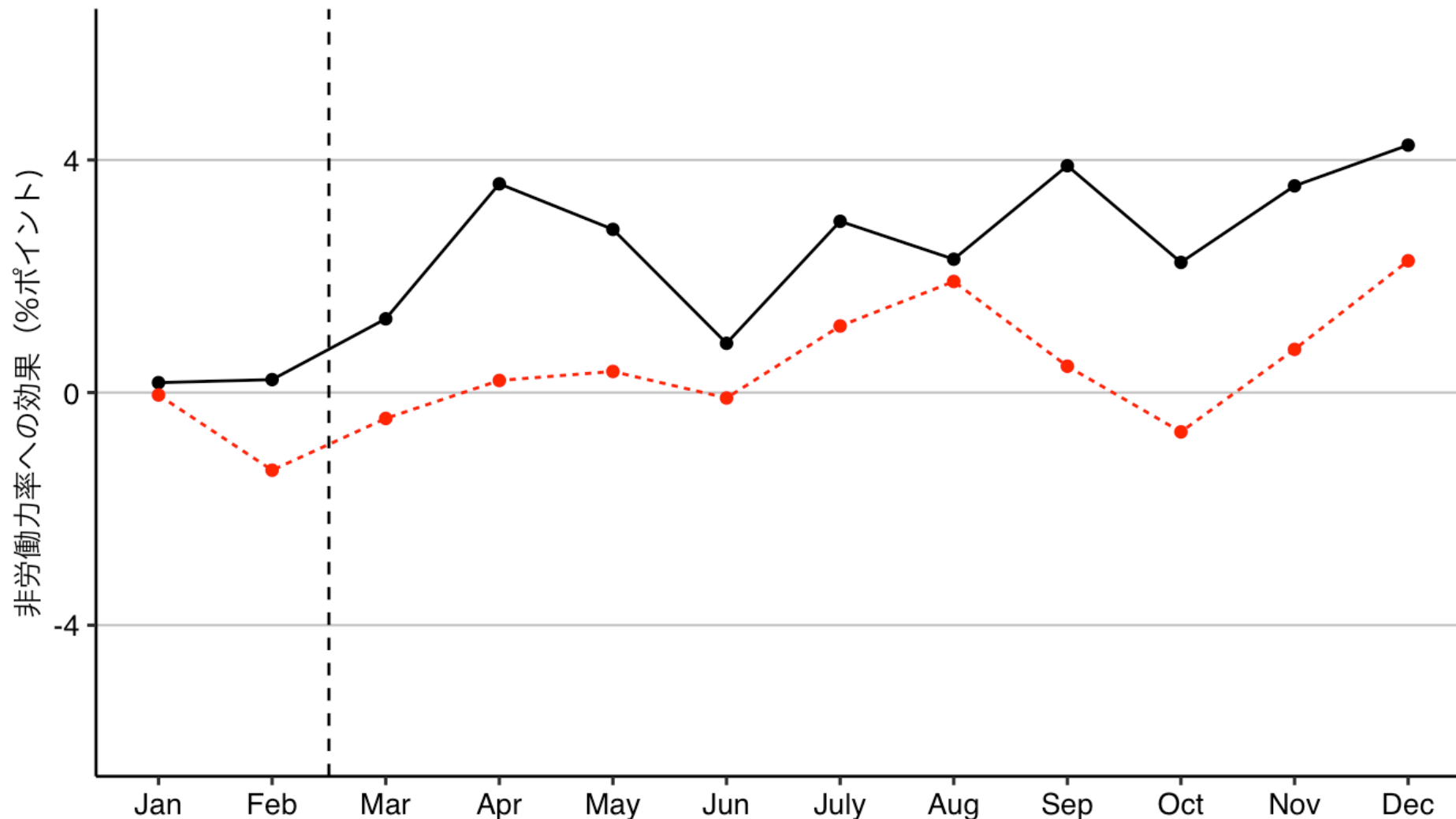
● 末子が未就学または小学生である有配偶女性 ● 子供のいない有配偶女性

末子が未就学または小学生である有配偶女性（25~54歳）の完全失業率への休校効果



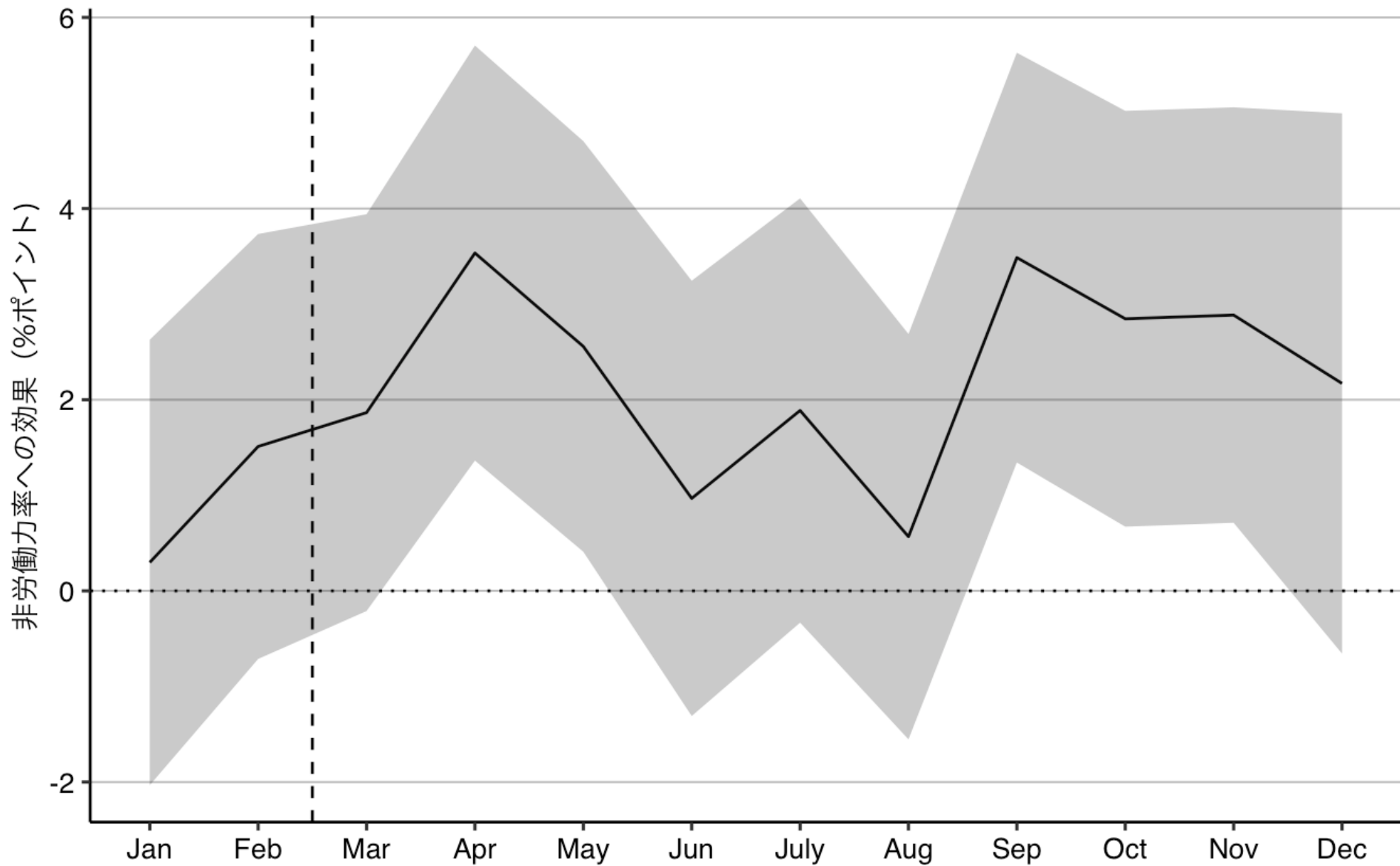
子供がいない有配偶女性をコントロールグループに用いた。網掛け部分は90%信頼区間を示す。

2つのグループ間での「コロナ禍効果」の比較：非労働力率への効果



● 末子が未就学または小学生である有配偶女性 ● 子供のいない有配偶女性

末子が未就学または小学生である有配偶女性（25~54歳）の非労働力率への休校効果

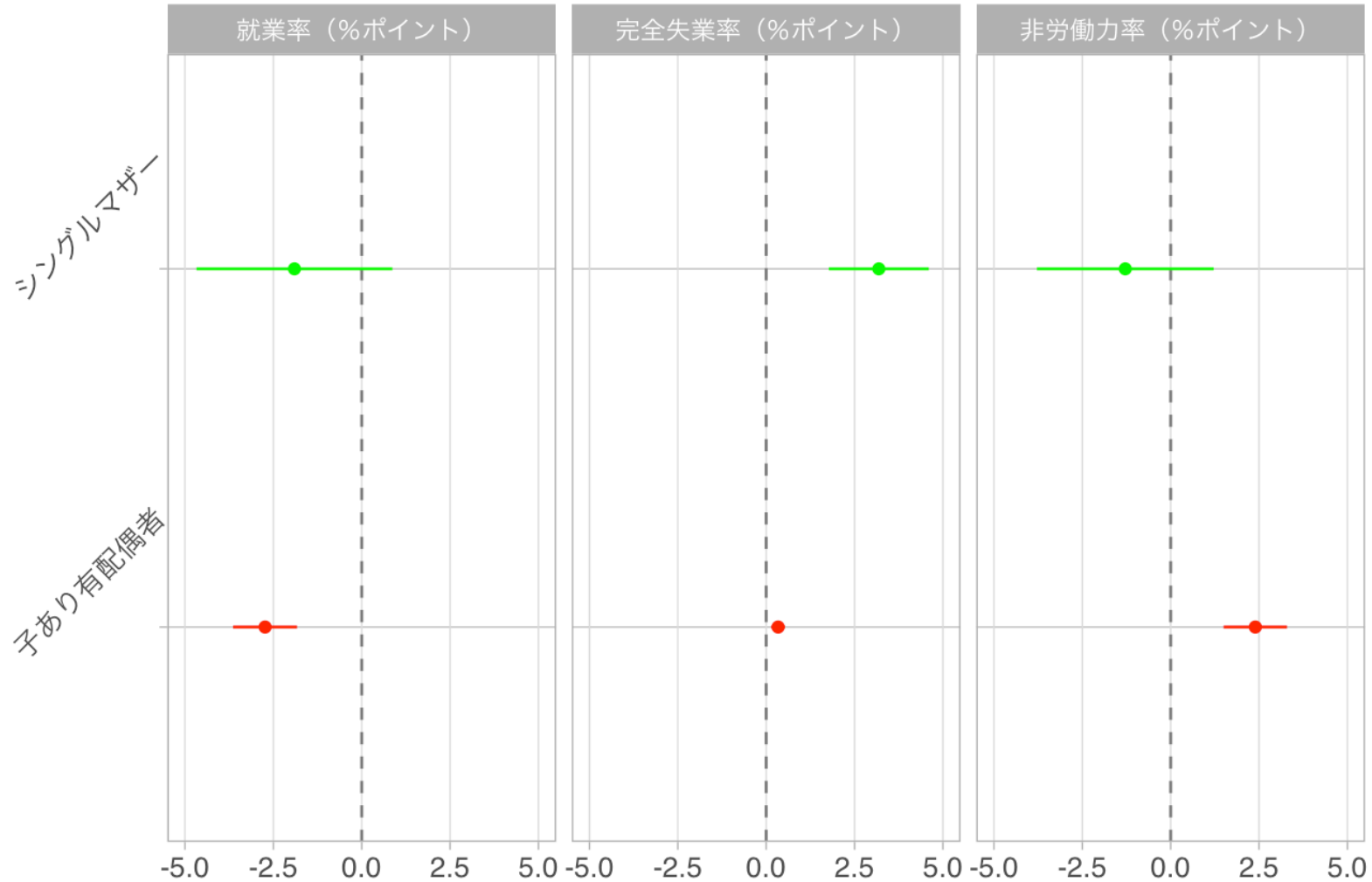


子供がいない有配偶女性をコントロールグループに用いた。網掛け部分は90%信頼区間を示す。



シングルマザーの失業が2020年第3四半期に大幅増

コロナ禍の効果の比較：子あり有配偶者とシングルマザー、2020年7-9月期についての平均

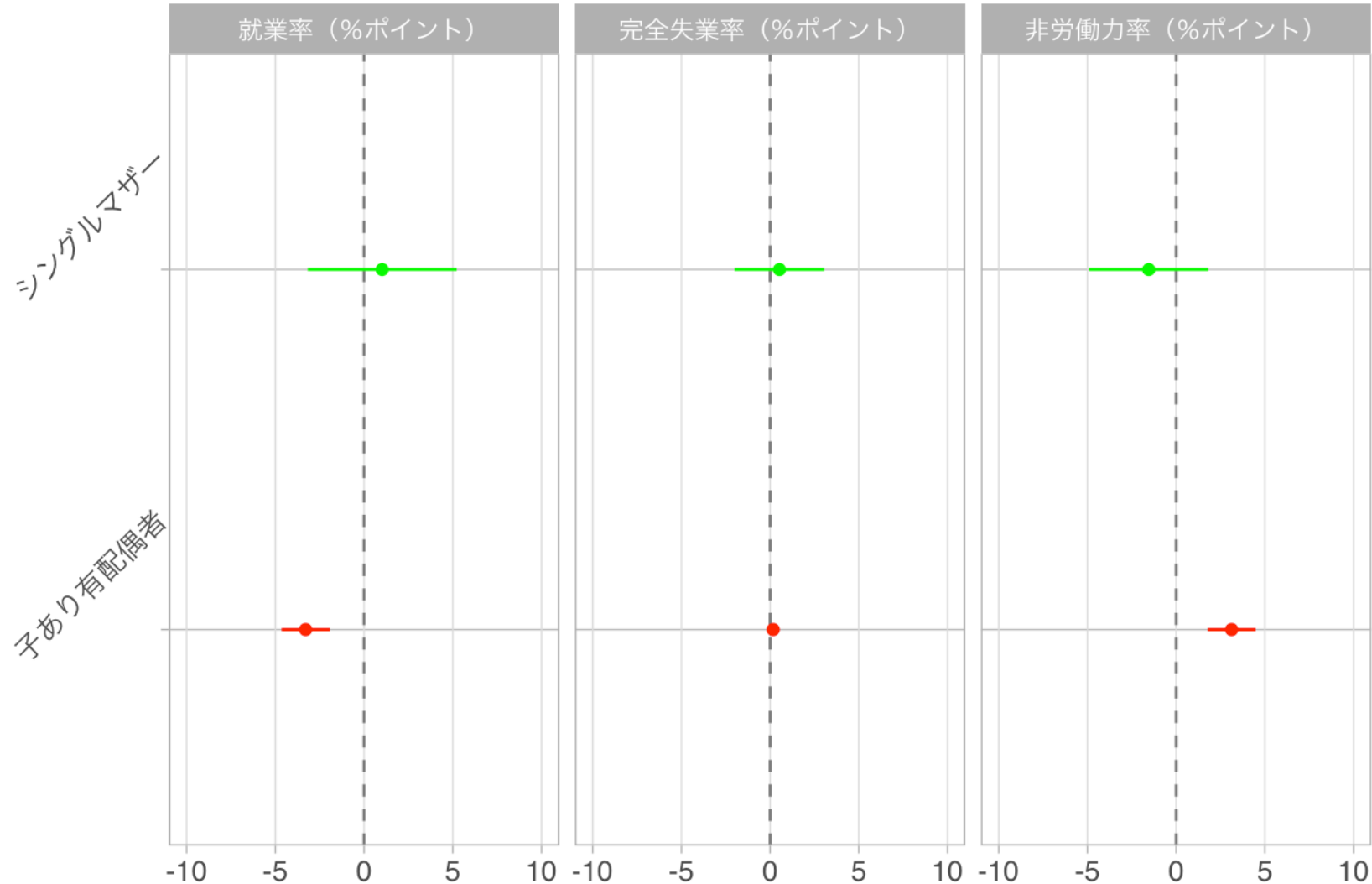


グラフ上の点は長期トレンドからの乖離の推定値、実線は90%信頼区間を示す。



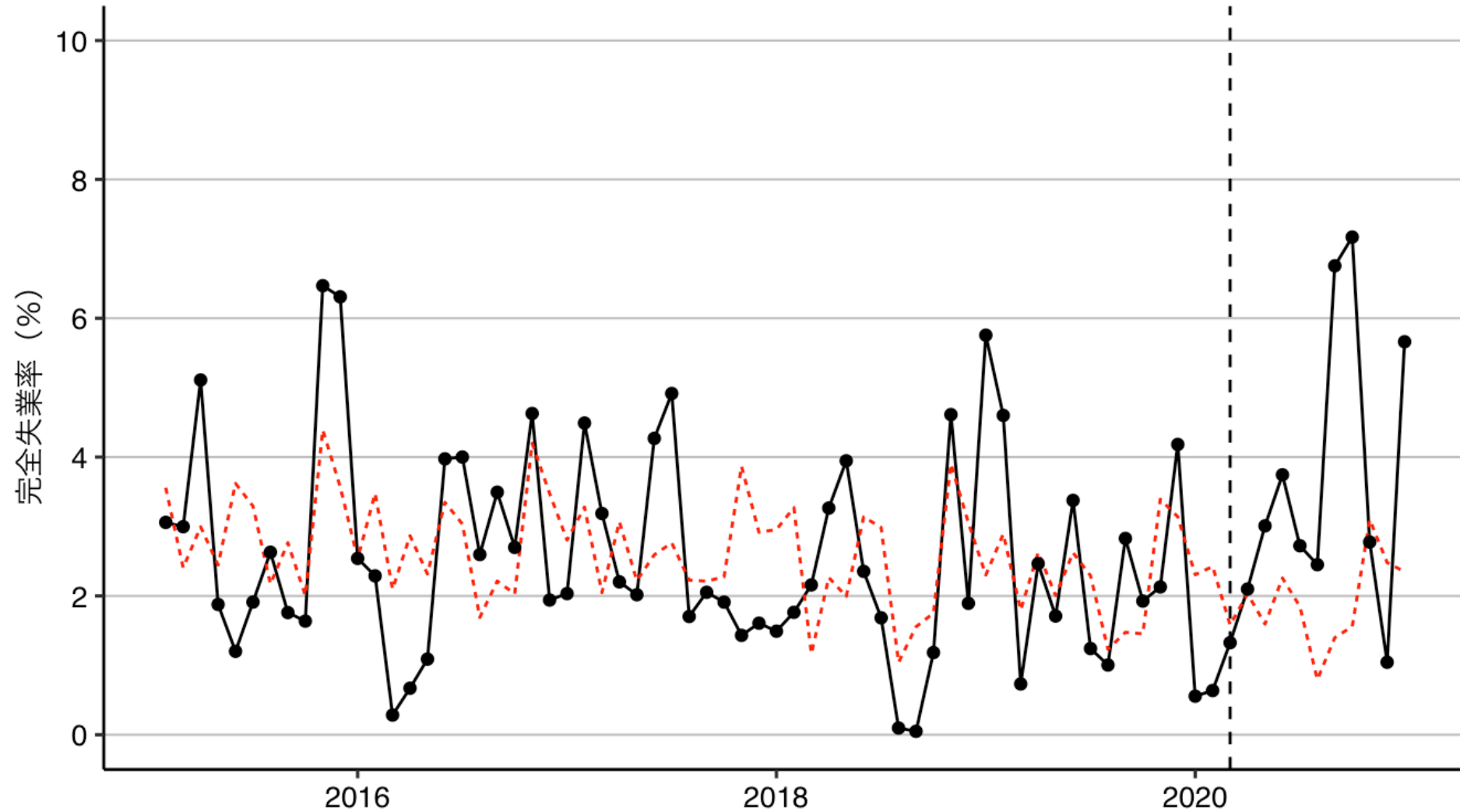
シングルマザーの就業状況は第4四半期では落ち着く？

コロナ禍の効果の比較：子あり有配偶者とシングルマザー、2020年10-12月期についての平均



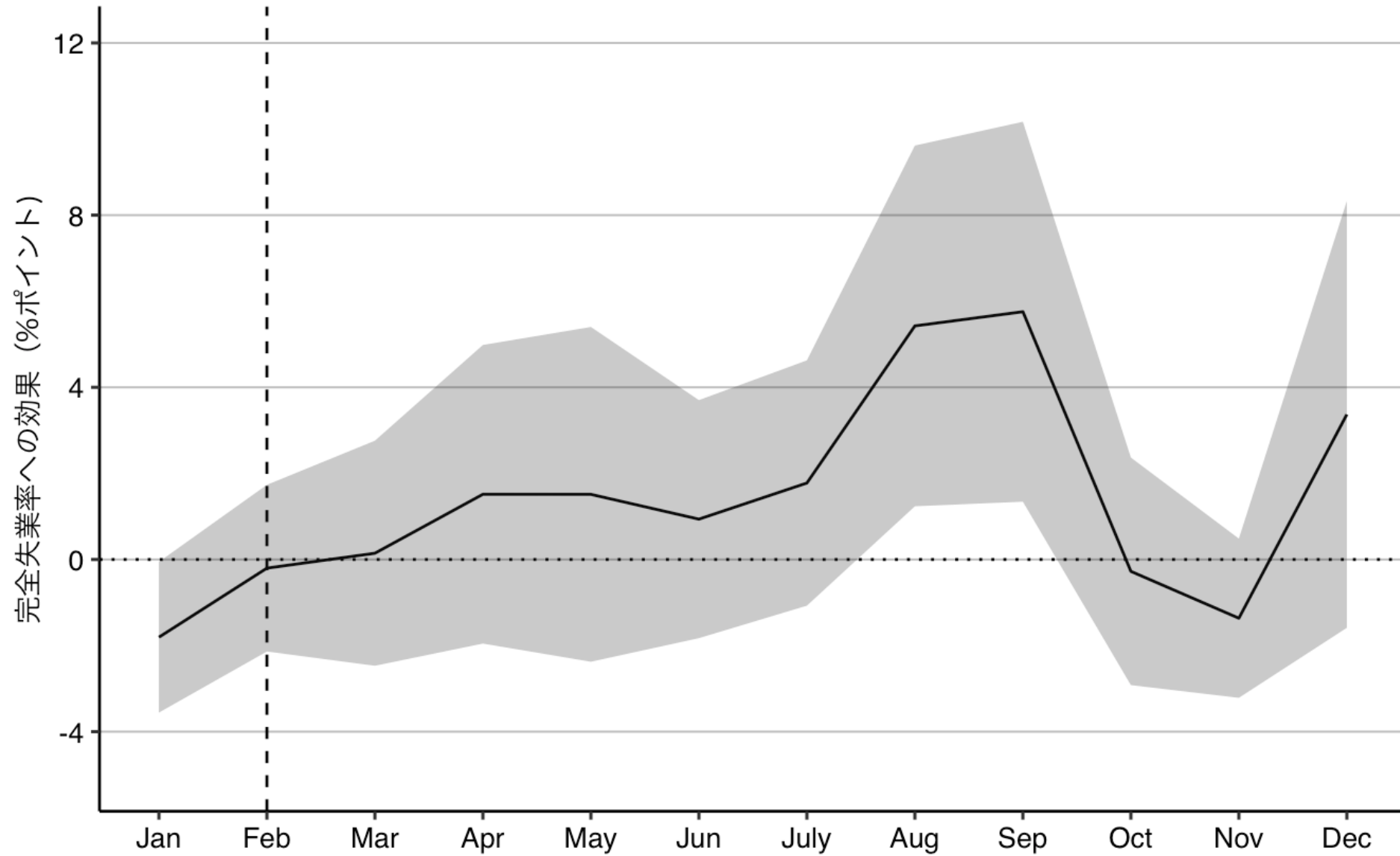
グラフ上の点は長期トレンドからの乖離の推定値、実線は90%信頼区間を示す。

シングルマザー（25~54歳）の完全失業率



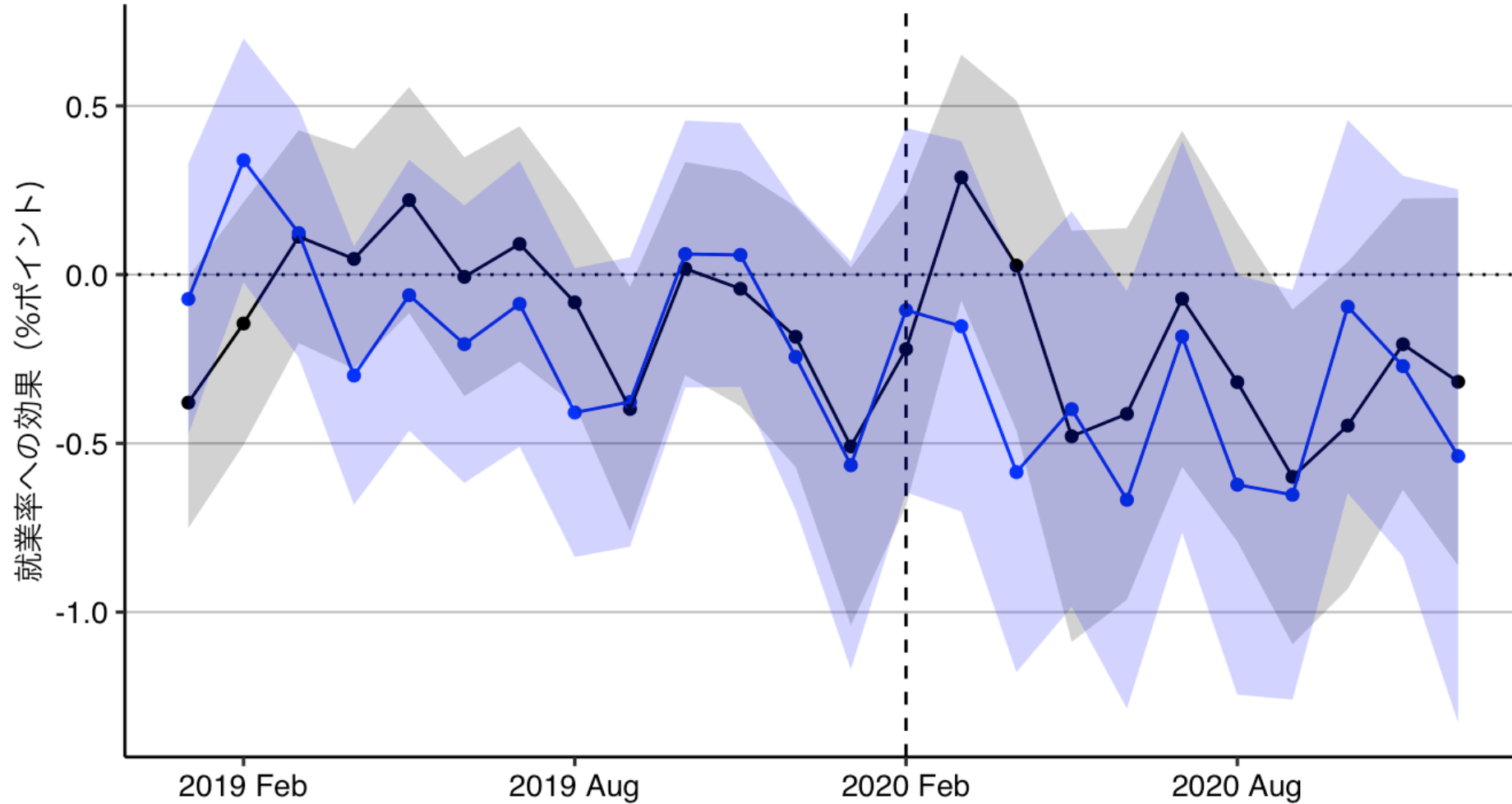
— 実測値 - - - 予測値

シングルマザー（25~54歳）の失業率へのコロナ禍効果



実線は予測値と実測値の差、網掛け部分は90%信頼区間を示す。

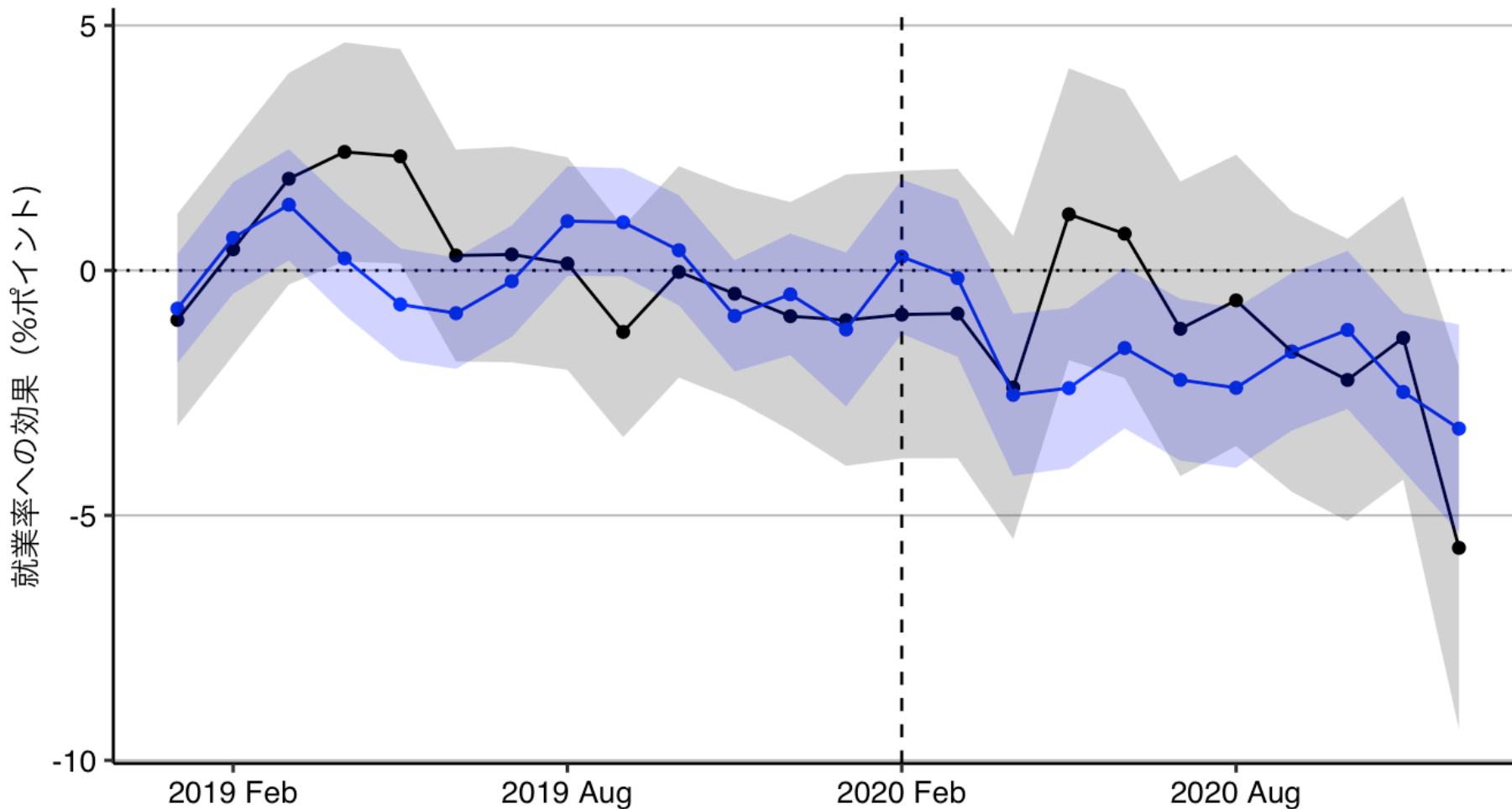
学歴別の「コロナ禍効果」の比較：就業率への効果、有配偶男性



● 大卒、大学院卒 ● それ以外

実線は予測値と実測値の差、網掛け部分は90%信頼区間を示す。個人レベルでクラスターされている。

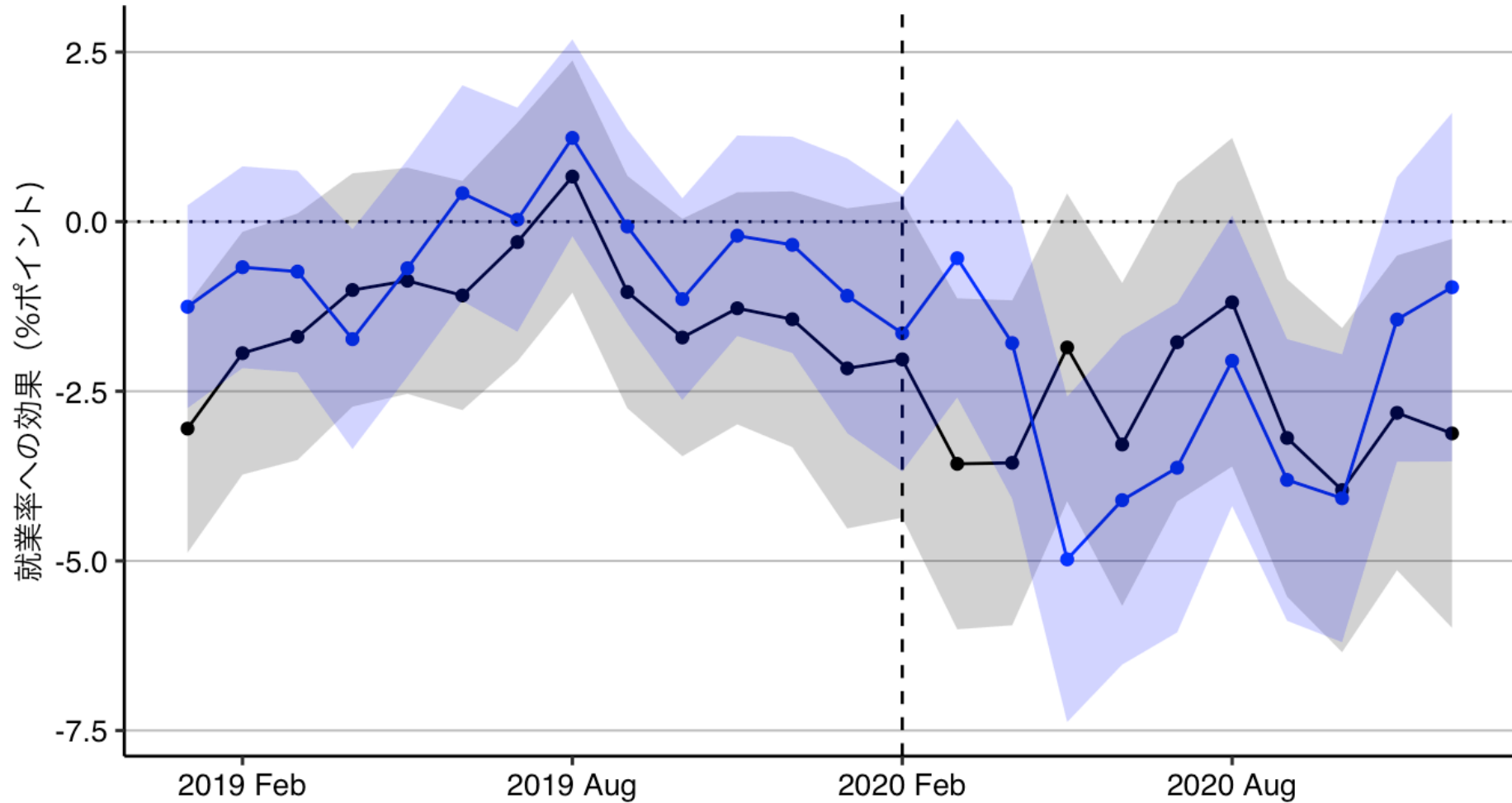
学歴別の「コロナ禍効果」の比較：就業率への効果、有配偶女性



● 大卒、大学院卒 ● それ以外

実線は予測値と実測値の差、網掛け部分は90%信頼区間を示す。個人レベルでクラスターされている。

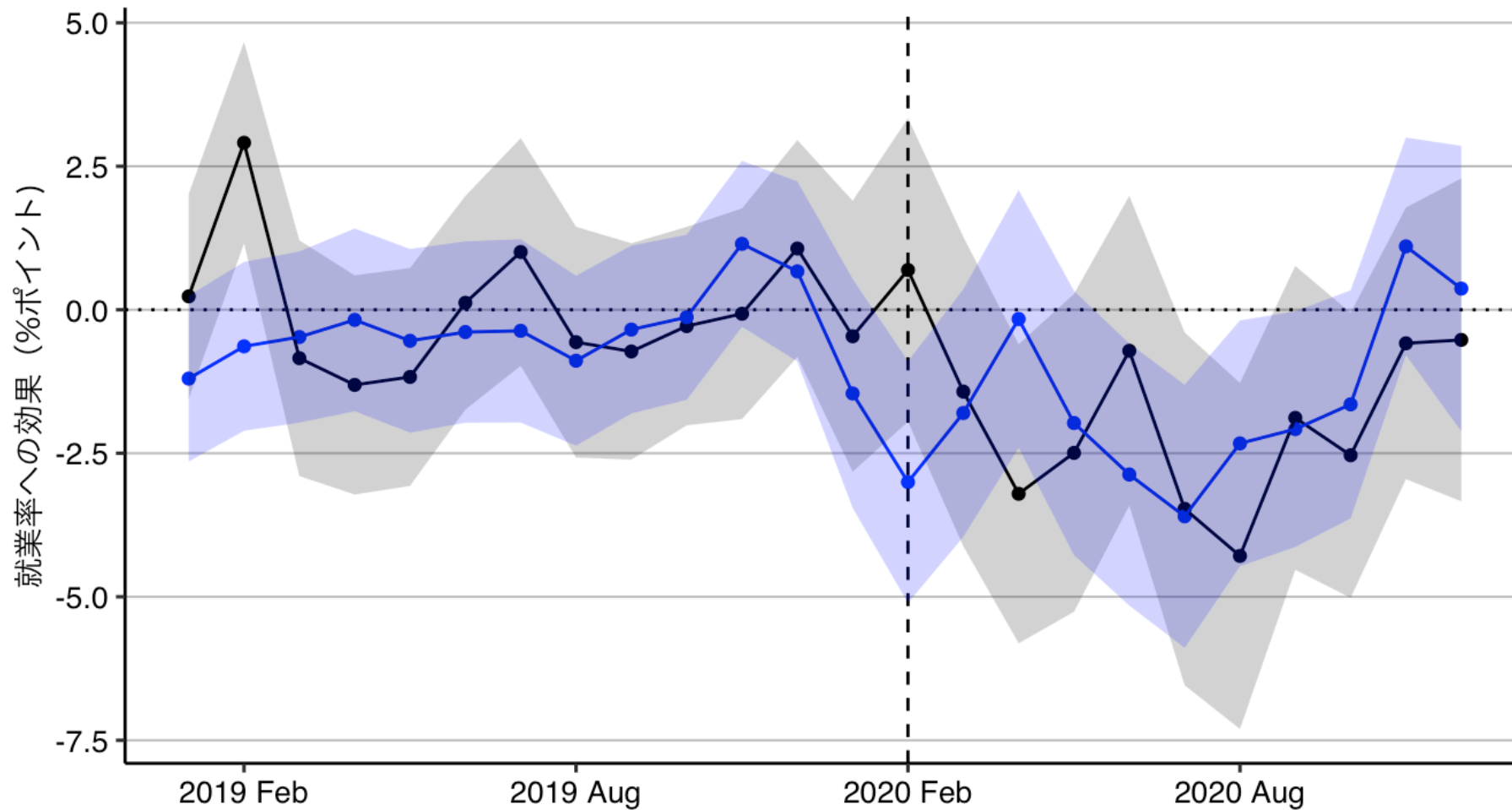
学歴別の「コロナ禍効果」の比較：就業率への効果、無配偶男性



● 大卒、大学院卒 ● それ以外

実線は予測値と実測値の差、網掛け部分は90%信頼区間を示す。個人レベルでクラスターされている。

学歴別の「コロナ禍効果」の比較：就業率への効果、無配偶女性



● 大卒、大学院卒 ● それ以外

実線は予測値と実測値の差、網掛け部分は90%信頼区間を示す。個人レベルでクラスターされている。



要点 (再掲)

- 有配偶子育て女性の就業率は、コロナ禍の影響で低下し、20年12月時点では回復していない。
- 特に、全国一斉休校があった小学生を持つ母親の就業率が低下。非労働力化が進んだため。
- シングルマザーの失業率がQ3に大幅上昇するが、Q4でやや落ち着く。引き続き注視すべき。
- 学歴間格差の拡大があったとは言えない。

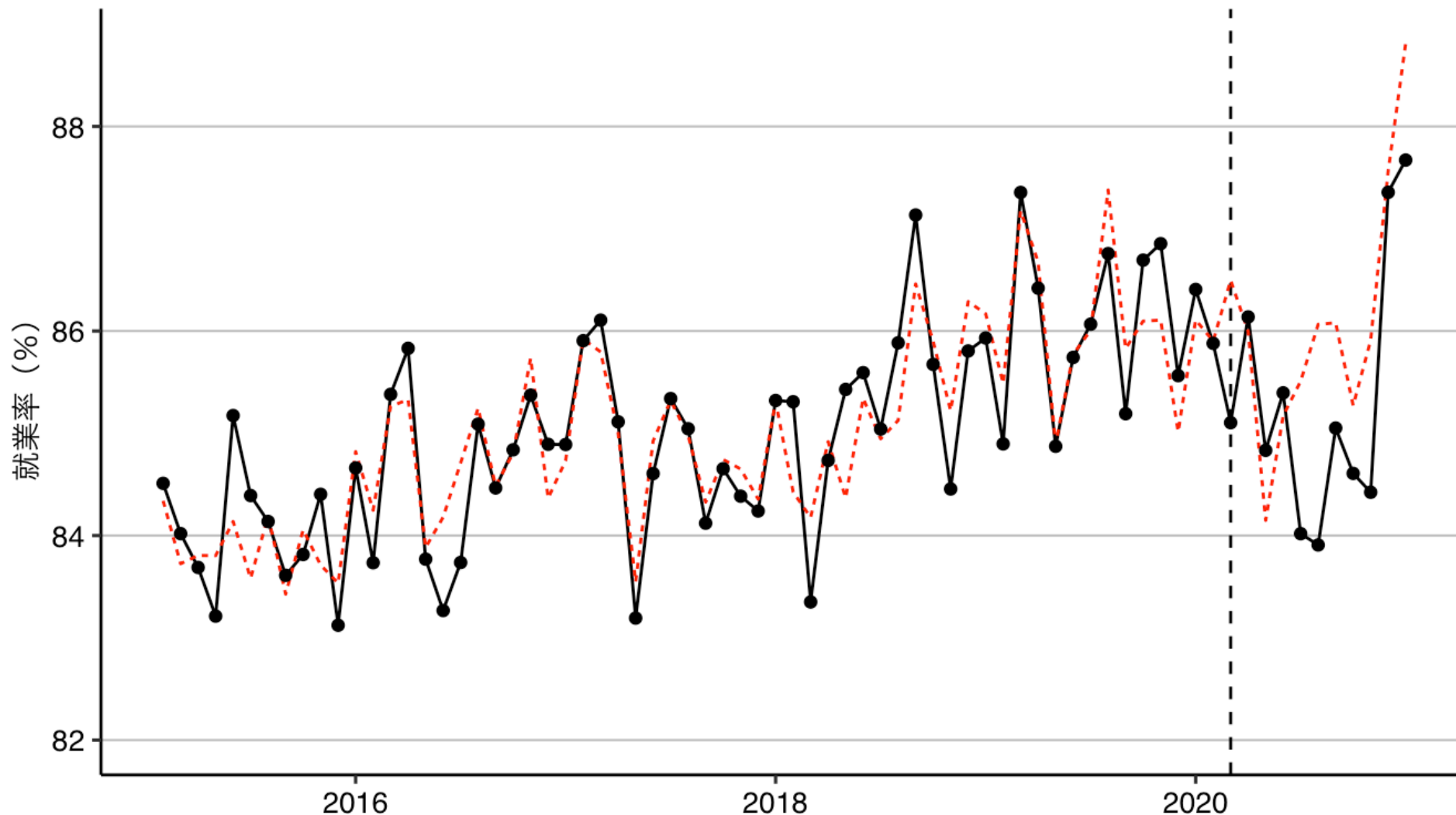


政策提言

- 休校や保育所の閉鎖はできるだけ避ける。子どものみならず、母親への就業にも悪影響の可能性。
- ひとり親世帯に対する支援の拡充を。
 - ひとり親世帯に注目した調査・分析も実施すべき
 - 既存統計でのオーバーサンプリングも有効
(現在、母子世帯は毎月約500世帯)
- 調査の実施のみならず、分析にも予算を。
類似した調査が乱立気味。質の高い公的統計の分析は不足。

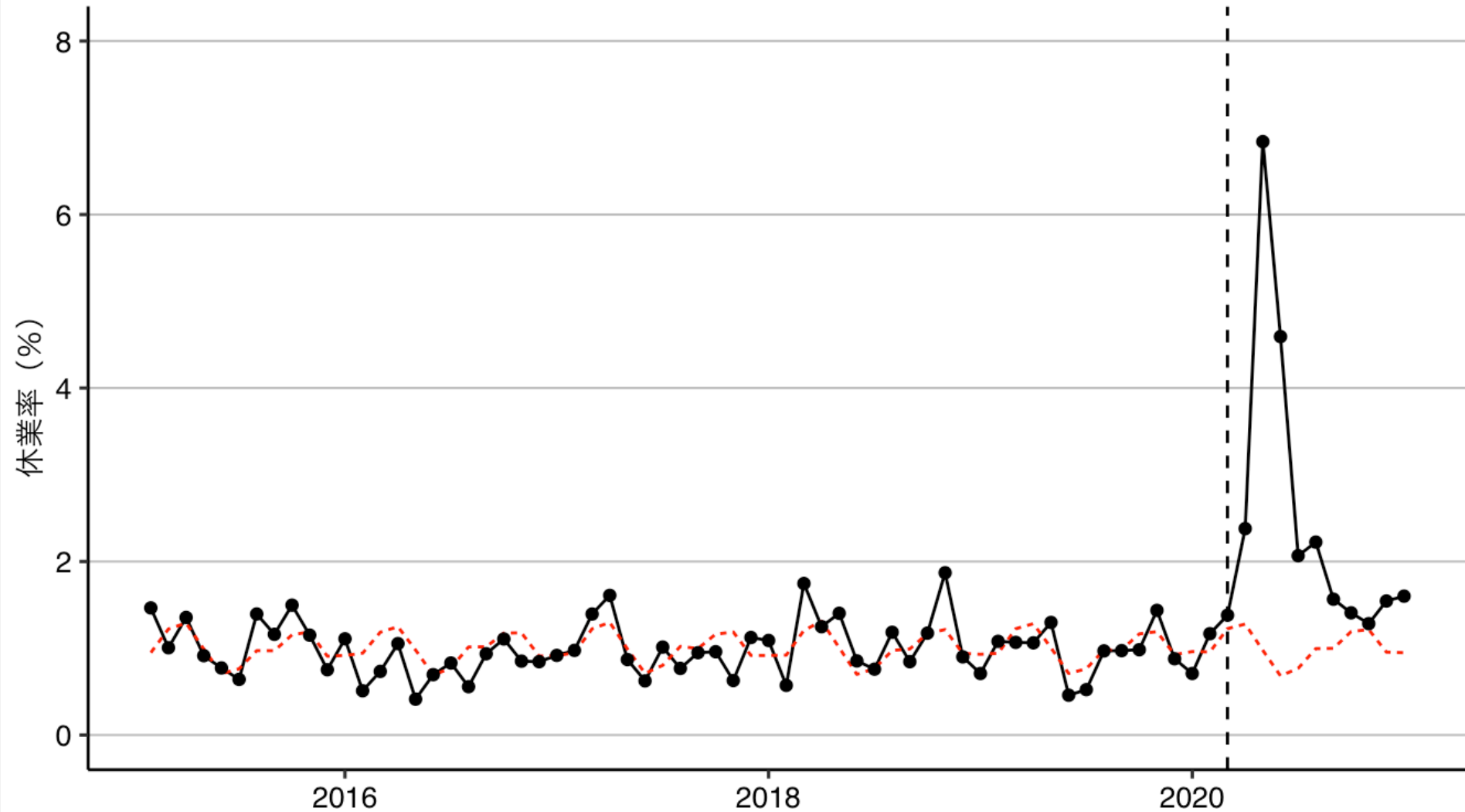
付録：無配偶女性への影響

無配偶女性（25~54歳）の就業率



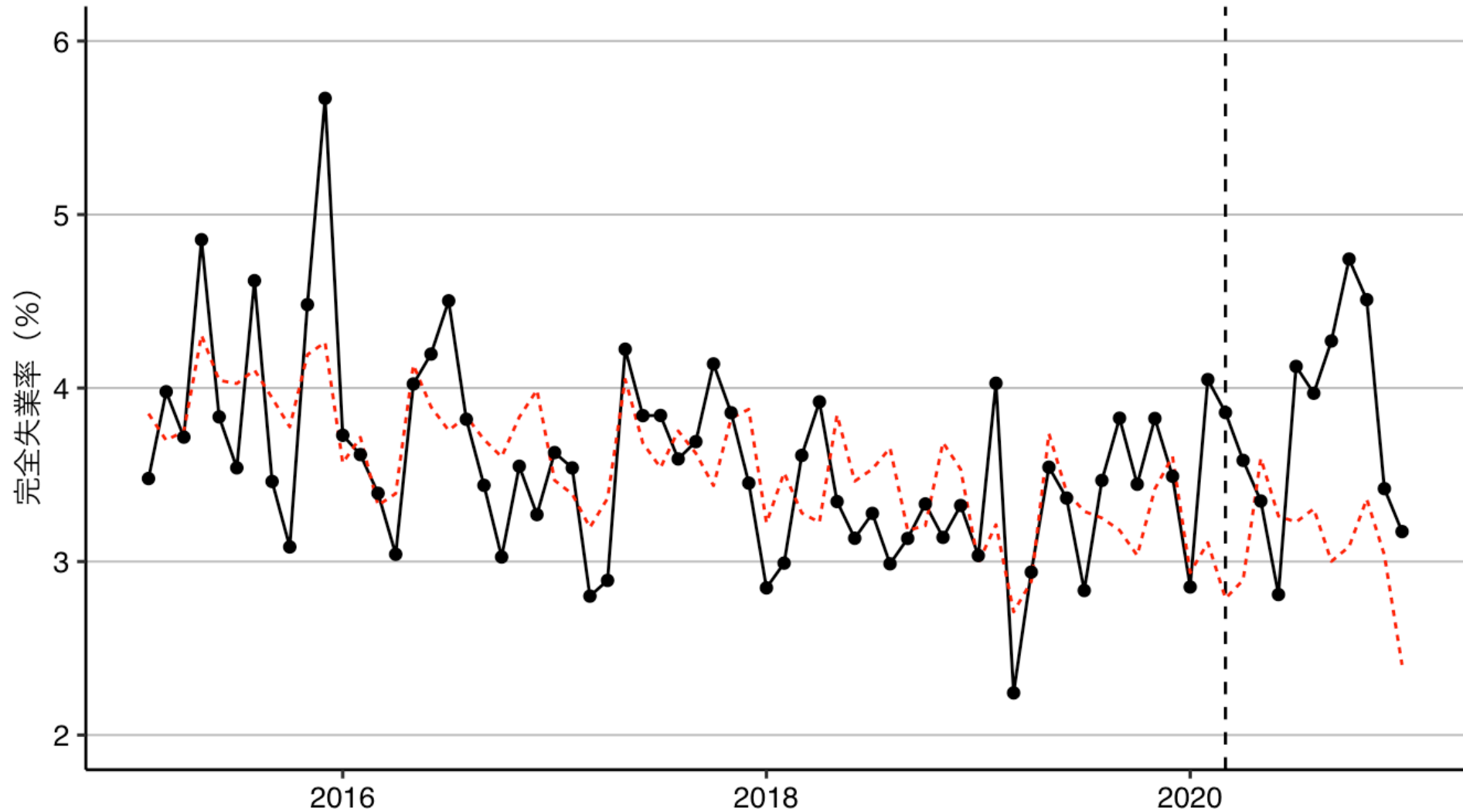
— 実測値 - - - 予測値

無配偶女性（25~54歳）の休業率



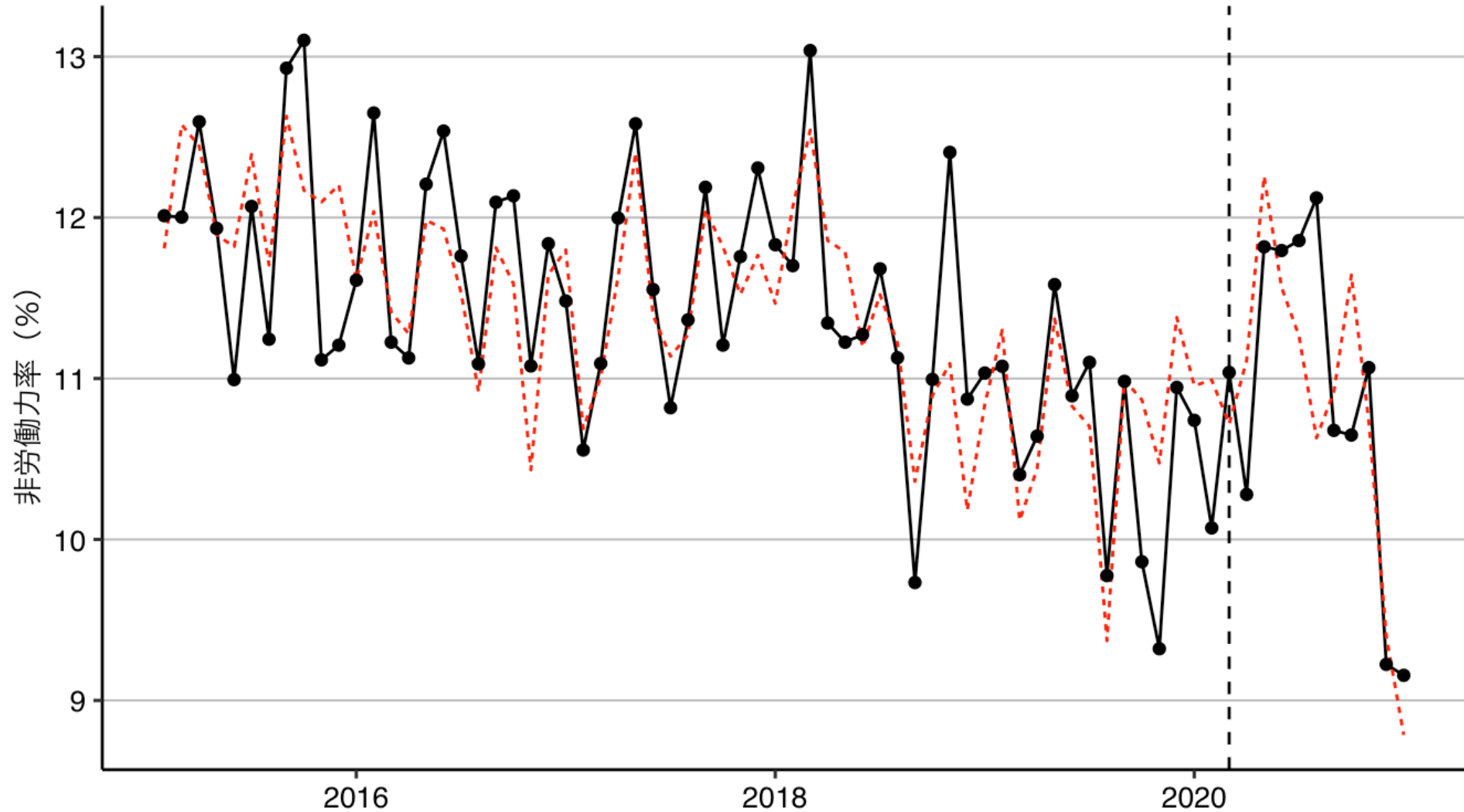
— 実測値 - - - 予測値

無配偶女性（25~54歳）の完全失業率



— 実測値 - - - 予測値

無配偶女性（25~54歳）の非労働力率



— 実測値 - - - 予測値